

四日市中央ポンプ場 仕上表		略号		外部付属物及び詳細番号		内部付属物及び詳細番号			
<p>1. 外部仕上表及び内、外部付属物の適用分類、詳細番号は、○印のついたものを適用する。</p> <p>2. 仕上表に記載の詳細番号のうち、(例) 1-02-3は建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官庁官庁官制部監修)を示す。</p> <p>3. 特記以外の木、鉄部の塗装はSOPとする。但し、和室回りは除く。</p> <p>4. 付属物のうち、室名札、床点検口、揭示板、案内板、ピクトグラフ、階段表示板等は、平面図による。</p> <p>5. 付属物のうち、カーテンボックス、ブラインドボックス、ブラインド、天井点検口等は天井伏図による。</p> <p>6. 改修後のPF板、木毛板等打込み箇所は、別図による。</p> <p>7. 改修後の内壁の見え掛りとなるPPF板打込み部分は、GB厚12.5直張り(継目処理工法)とし、塗装は、その部屋の壁面と同様とする。</p> <p>8. 改修後の壁のボード張りは水平方向に継手は設けない。</p> <p>9. 改修後の天井仕上ボード張りのうち、GB(NT)及びRB(下地GB共)は突付け張りとし、天井回り縁は、アルミ製、天井付き目地とする。</p> <p>10. 改修後の直接地業工事に接する内部床のコンクリート下地には、防湿層としてポリエチレンフィルム厚0.15の敷込みを行う。ただし、床仕上げがビニル床タイル、ビニル床シート及び合成樹脂塗床、床用塗料の場合とする。</p> <p>11. 改修後の打放し仕上げの出隅部分は、面取りを行う。</p>		<p>C コンクリート下地</p> <p>CB コンクリートブロック下地</p> <p>W 木造下地</p> <p>S 軽量鉄骨下地</p> <p>GB-R せつこうボード</p> <p>GB-NC(N) 不燃精層せつこうボード(化粧無し:下地張り用)</p> <p>GB-NC(NT) 不燃精層せつこうボード(化粧有り:トラバーチン模様)</p> <p>GB-D(W) 木目化粧せつこうボード</p> <p>GB-S シーリングせつこうボード</p> <p>GB-F 強化せつこうボード</p> <p>ケイカル板 けい酸カルシウム板(タイプ2)</p> <p>DR ロックウール化粧吸音板 トラバーチン模様</p> <p>DR(凹凸) ロックウール化粧吸音板 凹凸模様</p> <p>DR(軒天) ロックウール化粧吸音板 軒天井用:トラバーチン模様</p> <p>DR(軒天凹凸) ロックウール化粧吸音板 軒天井用:凹凸模様</p> <p>PPF板 押出法ポリスチレンフォーム保温材</p> <p>木毛板 木質系セメント板</p> <p>TB テラゾープロック</p> <p>外装薄塗材(E) 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材</p> <p>内装薄塗材(Si) 内装けい酸系薄付け仕上塗材</p> <p>内装薄塗材(E) 内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材</p> <p>複層塗材(Si) けい酸系複層仕上塗材</p> <p>C(B) コンクリート下地(打放シB)</p> <p>C(C) コンクリート下地(打放シC)</p> <p>M モルタル</p> <p>軽量吹付 軽量骨材仕上塗材</p>		<p>複層塗材(CE) ポリマーセメント系複層仕上塗材</p> <p>複層塗材(E) 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材</p> <p>複層塗材(RE) 反応硬化合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材</p> <p>CL クリヤラッカー塗り</p> <p>FE フタル酸樹脂エナメル塗り</p> <p>AE アクリル樹脂エナメル塗り</p> <p>DP(UE) 2液形ポリウレタンエナメル塗り</p> <p>DP(ASE) アクリルシリコン樹脂エナメル塗り</p> <p>DP(FUE) 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り</p> <p>EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</p> <p>EP ロックウール化粧吸音板</p> <p>EP-M 多彩模様塗料塗り</p> <p>EP-T 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り</p> <p>UC ウレタン樹脂フニス塗り</p> <p>OS オイルステイン塗り</p> <p>SQP グラファイトペイント塗り</p> <p>GP アクリル樹脂フニス塗り(アクリル樹脂クリヤ塗り)</p> <p>AC アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</p> <p>NAD ラックルエナメル塗り</p> <p>LE 木材保護塗料塗り</p> <p>WP 木質系薄塗材</p> <p>GW-B グラスウール吸音材</p>		<p>・屋上点検口 5-21-1</p> <p>・屋上管類貫通部 5-22-1</p> <p>・クーリングタワー基礎 5-22-2 5-22-3</p> <p>テレピアソナ基礎</p> <p>・屋上換気塔 5-21-2 図示</p> <p>・煙突 図示 G-02-1</p> <p>・タラップ H-16-1</p> <p>・背もたれ付 H-16-2</p> <p>5-31.32.33</p> <p>・と い</p> <p>・ルーフトレン 5-32-1</p> <p>5-33-1</p> <p>・トップライト E-02-3 図示</p> <p>・EXP. J金物 S-07</p> <p>・笠木兼用遮音導体 E-01-1</p> <p>・手すり アルミ H-12-1</p> <p>H-13-3</p> <p>H-13-4</p> <p>・ステンレス(図示)</p> <p>・スチール(図示)</p> <p>・図示</p> <p>H-19-1・2・3</p> <p>B-21-1・2・3</p> <p>・旗竿</p> <p>・くつきマット</p>		<p>・くつき流し</p> <p>・グレーチング</p> <p>・電気用ハンドホール蓋</p> <p>・文字板</p> <p>・庁名板</p> <p>・郵便受</p> <p>・目地</p> <p>・8-23-1</p> <p>・8-23-2</p> <p>・A-04-1・2・3</p> <p>・A・B・C-( )</p> <p>・図示</p> <p>・図示</p> <p>・図示</p> <p>・図示</p> <p>・H-18-1</p> <p>・F-01-1</p> <p>・F-01-2</p> <p>・F-01-1</p> <p>・F-01-3</p> <p>・F-01-4</p> <p>・F-01-5</p> <p>・6-11-5</p> <p>・6-32-1</p> <p>・3-42-2</p> <p>・既製品</p> <p>・6-23-1・2</p> <p>・6-24-1</p> <p>・6-26-1・2・3・4</p> <p>・6-27-1・2・3・4・5</p> <p>・1-21-</p> <p>・A-03-</p> <p>・H-19-</p> <p>・8-21-</p> <p>・H-14-</p> <p>・8-31-</p> <p>・背もたれ付 H-15-2</p> <p>・U型 H-16-1</p> <p>・U型 H-15-1</p> <p>・図示</p> <p>・H-16-1</p> <p>・約針型H-16-2</p> <p>・図示</p> <p>・6-31-</p> <p>・F-01-1</p> <p>・F-01-2</p> <p>・F-01-1</p> <p>・F-01-3</p> <p>・C-01-1</p> <p>・C-01-2</p> <p>・既製品</p> <p>・アルミ</p> <p>・H-11-1</p> <p>・H-12-</p> <p>・H-13-</p> <p>・図示</p> <p>・既製品</p> <p>・アルミ</p> <p>・H-11-1</p> <p>・図示</p> <p>・H-12-2</p> <p>・B-02-</p> <p>・B-03-1</p> <p>・7-01-1</p> <p>・7-01-2</p> <p>・7-02-1</p> <p>・6-46-1</p> <p>・S-05-1</p> <p>・図示</p> <p>・図示</p> <p>・図示</p> <p>・図示</p> <p>・マンホール蓋</p> <p>・図示</p> <p>・H-41-1</p> <p>・B-42-1</p> <p>・B-43-1</p> <p>・図示</p>	
※ 本工事に関連し支障となるプラント設備(機械・電気)は別途であるが、当該工事受注者との十分な調整を行うこと。									

外部仕上表		床		幅木・腰		外壁		屋根		パラペット		庇上端(シャッター上部)		庇はな(シャッター上部)		庇軒天(シャッター上部)		備考		
下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上		詳細番号	改修内容
改修前	既M	直均し	1-01-1	F	C	モルタル塗t25 H=200	2-02-13	F C (一部)	C	二丁掛けタイル貼	2-01-6	F C (一部)	C	アスファルト防水(A-1) 無断コンクリート厚70 押えコンクリート直均し仕上	F C	C	押えコンクリート打放し仕上	3-01-11	F	
改修後		既存のまま		f	C	既存のまま		f	C	既存のまま		f	C	既存のまま		f	C	既存のまま		f

内部仕上表		床		幅木		腰壁		壁		天井		備考														
階	室名	下地	仕上	詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	柱型仕上		詳細番号	改修内容	下地	仕上	高さ	詳細番号	改修内容	梁型仕上	詳細番号	改修内容				
B1	ポンプ室	改修前	C	コンクリート直均し	1-01-3	F A (一部)					C	コンクリート打放し	2-02-12	F A (一部)	C	コンクリート打放し	2-02-8	F A (一部)	C	木毛板打込t20AEP吹付	直天	-	F	コンクリート打放し	3-01-11	F A (一部)
		改修後		既存のまま		f					C	既存のまま	2-02-12	f d (一部)	f	既存のまま		f	既存のまま		f	既存のまま		f		
1	電気室	改修前	無断 C t170	モルタル下地 塩ビ系タイル貼 ※	1-01-1	F C (一部)					C	コンクリート打放しVP	2-02-8	F A (一部)	C	コンクリート打放しVP	2-02-8	F A (一部)	C	木毛板打込t20AEP吹付	直天	-	F	コンクリート打放しVP	3-01-11	F A (一部)
		改修後	無断 C t170	既存のまま モルタル下地 ビニル床タイル貼	1-01-1	f d (一部)					C	既存のまま	2-02-12	f d (一部)	f	既存のまま		f	既存のまま		f	既存のまま		f		
	事務室(脱臭ファン置場)	改修前	無断 C t170	モルタル下地 塩ビ系タイル貼 ※	1-01-2	F C (一部)					C	モルタル塗VP	2-02-13	F A (一部)	S	PBt9下地 吸音テックス貼 ※	2400	3-01-4	F C (一部)	C	コンクリート打放し	3-01-11	F A (一部)		F	ステンレス流し台 吊戸棚
		改修後	無断 C t170	既存のまま モルタル下地 ビニル床タイル貼	1-01-2	f d (一部)					C	既存のまま	2-02-12	f d (一部)	f	既存のまま	2400	3-01-4	f d (一部)	C	既存のまま		f	既存のまま		
	車載入口	改修前	C	防水モルタル直均しt30	1-01-1	F					C	コンクリート打放しVP	2-02-8	F C (一部)	C	コンクリート打放しVP	2-02-8	F	C	木毛板打込t20AEP吹付	直天	-	F	コンクリート打放し	3-01-11	F
		改修後		既存のまま		f					C	既存のまま		f d (一部)	f	既存のまま		f	既存のまま		f	既存のまま		f		
	作業スペース	改修前	無断 C t170	防水モルタル直均しt30	1-01-1	F					C	コンクリート打放しVP	2-02-8	F C (一部)	C	コンクリート打放しVP	2-02-8	F A (一部)	C	木毛板打込t20AEP吹付	直天	-	F	コンクリート打放し	3-01-11	F A (一部)
		改修後		既存のまま		f					C	既存のまま	2-02-12	f d (一部)	f	既存のまま		f	既存のまま		f	既存のまま		f		
	階段室	改修前	C	防水モルタル直均しt30	1-01-1	F					C	コンクリート打放しVP	2-02-8	F	C	コンクリート打放しVP	2-02-8	F	C	木毛板打込t20AEP吹付	直天	-	F	コンクリート打放し	3-01-11	F
		改修後		既存のまま		f					C	既存のまま		f	既存のまま		f	既存のまま		f	既存のまま		f	既存のまま		f

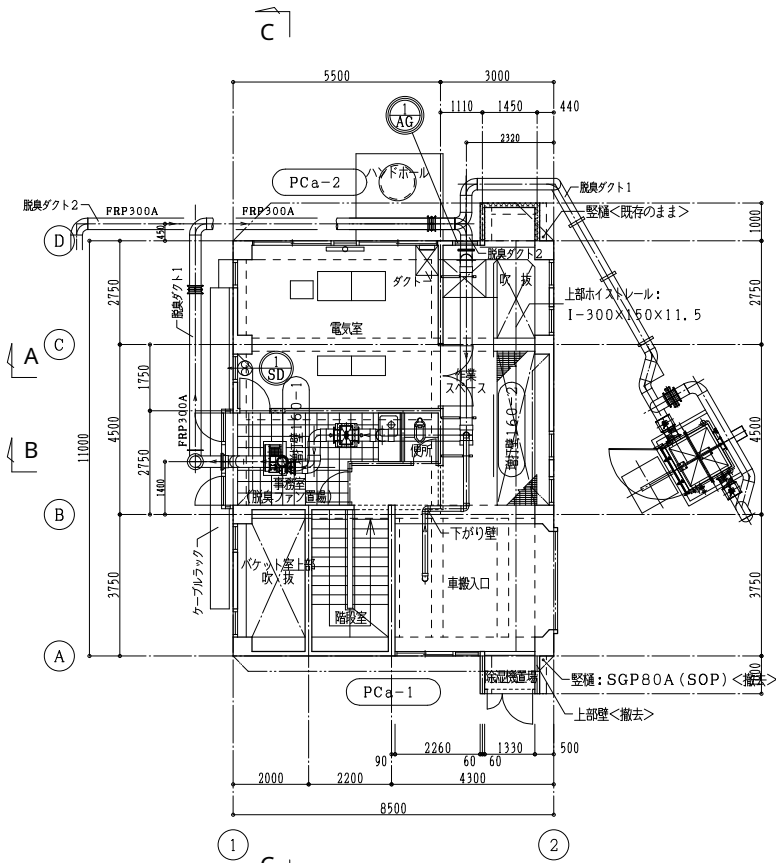
注:改修前の仕上表記において、VP・PBは既存建物完成図における記号である。 ※ アスベスト含有試験材

VP ビニル樹脂塗料塗り

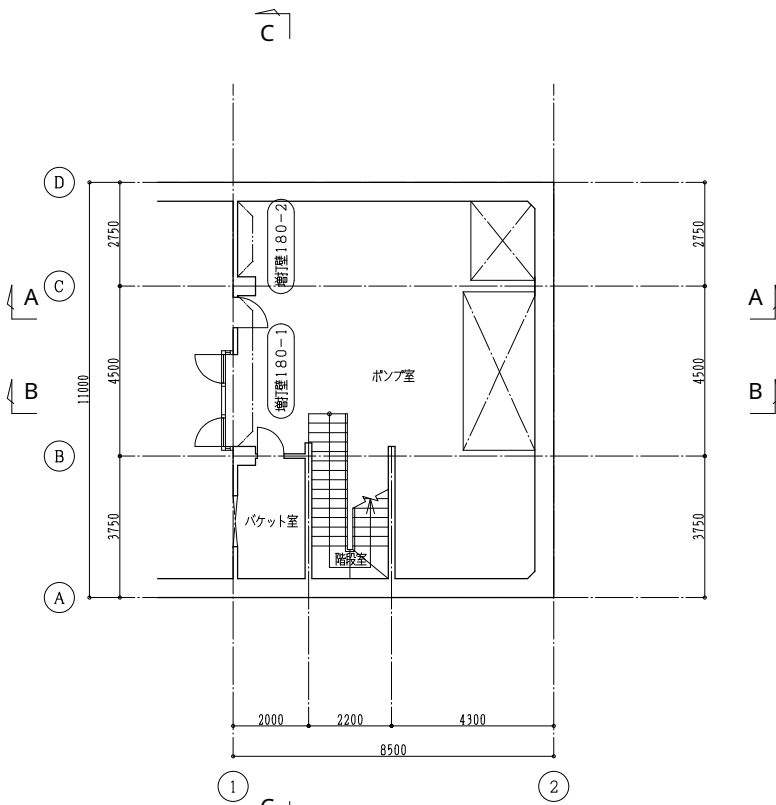
PB せつこうボード

特記なき限り		材料名		種別		壁(m/m)		天井(m/m)		備考		工事区分略号		改修前		改修後	
改修後の厚さ	GB-R	種別	種別	壁(m/m)	天井(m/m)	備考	工事区分略号	<	>	(C)	土木工事	A:仕上撤去(下地調整)	a:仕上新設				
		仕上	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板(タイプ2)	12	10	NM-8578	<	>	(AM)	建築機械設備工事	b:図示の仕上新設			
	下地	12.5			押出法ポリスチレンフォーム保温材	25	25		<	>	(AE)	建築電気設備工事	c:下地共新設				
	GB(N)	下地		9.5	NM-8613 又は同等	壁	紙		<	>	(PM)	プラント機械設備工事	d:図示の下地共新設				
	GB(W)			12.5	不燃(個別認定)				<	>	(PE)	プラント電気設備工事	e:塗装の塗り替え				
DR			12	NM-8599								f:既存のまま					

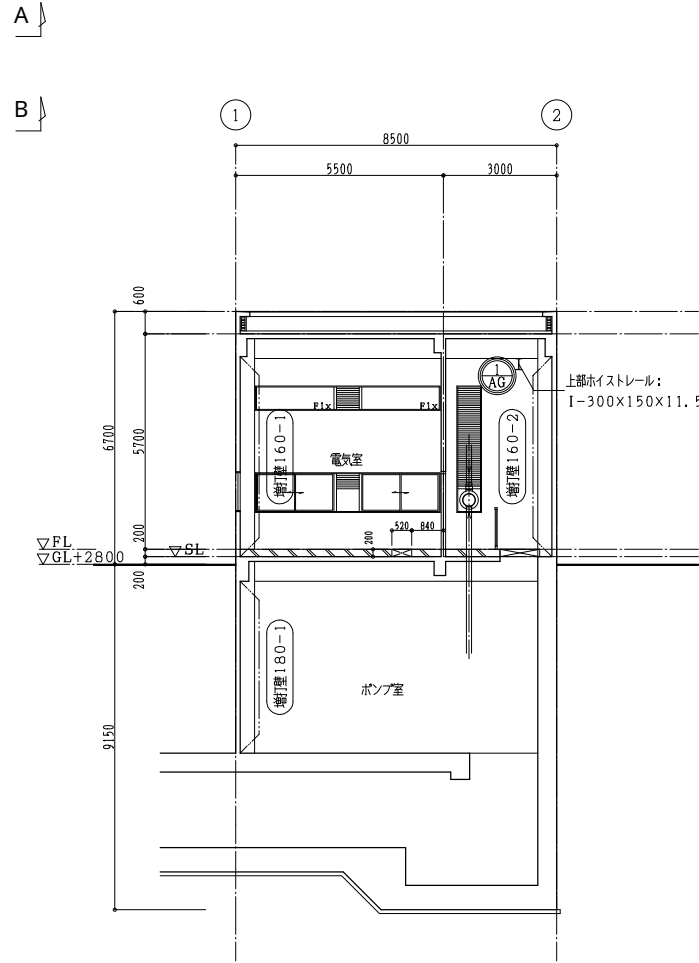
事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	改修仕上表		
縮尺	—	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図番	D-7



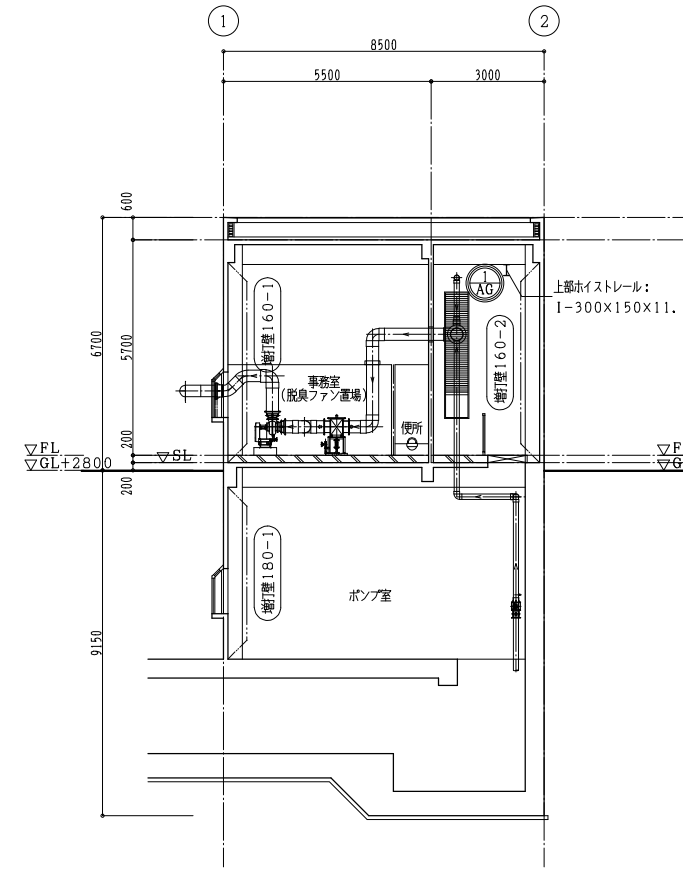
改修前1階平面図 S=1/100



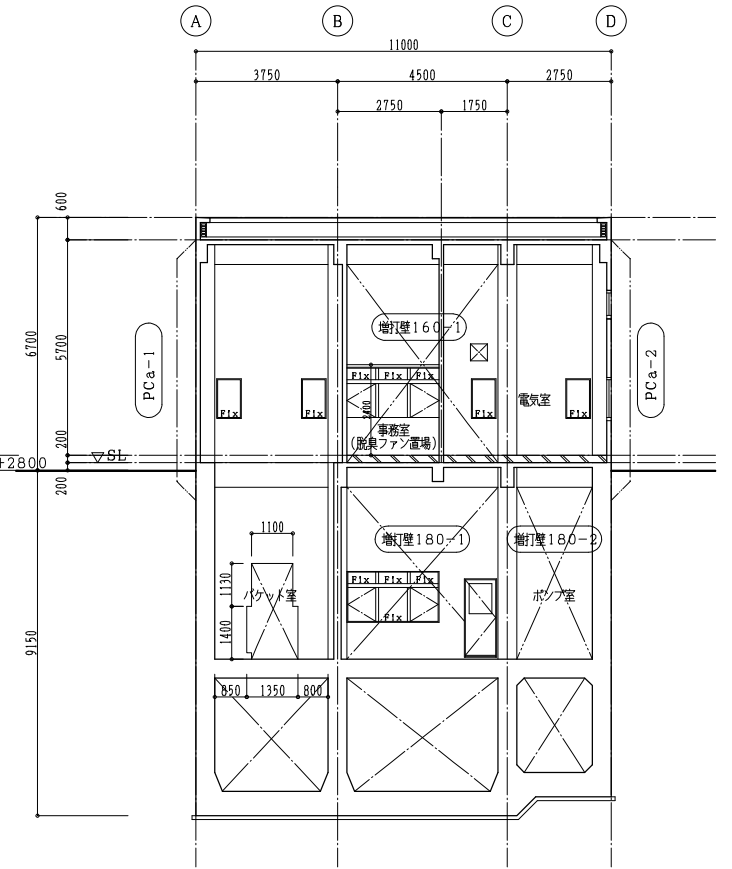
改修前B1階平面図 S=1/100



改修前A-A断面図 S=1/100



改修前B-B断面図 S=1/100



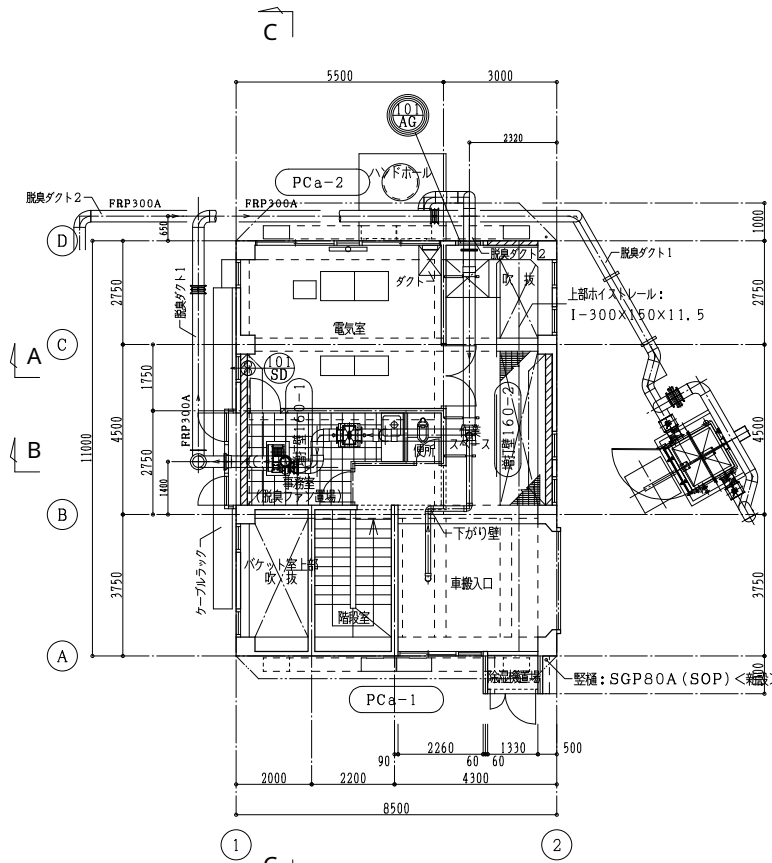
改修前C-C断面図 S=1/100

- は撤去建具を示す。  
(撤去部分は四角鉄筋をはり出すこと)  
(建具廻りのソーリングは撤去すること)
- は改修前建具を示す。
- 増打壁160-1 は増打ち壁施工場所及び部分詳細図番号を示す。
- PCa-1 はプレキャストプレストレストコンクリートブレース施工場所及び部分詳細図番号を示す。
- 部分は構体・仕上撤去範囲を示す。

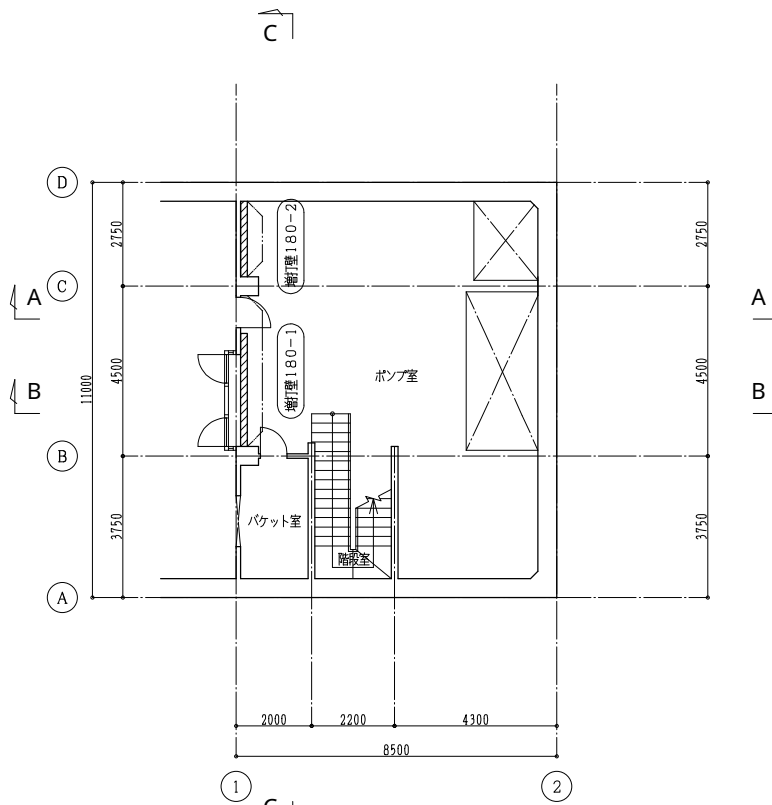
共通事項：本工事に支障となるプラント設備（脱臭ダクト・電気設備）の撤去・復旧、移設は別途工事とする。

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	改修前 平面図・断面図		
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図番	D-8

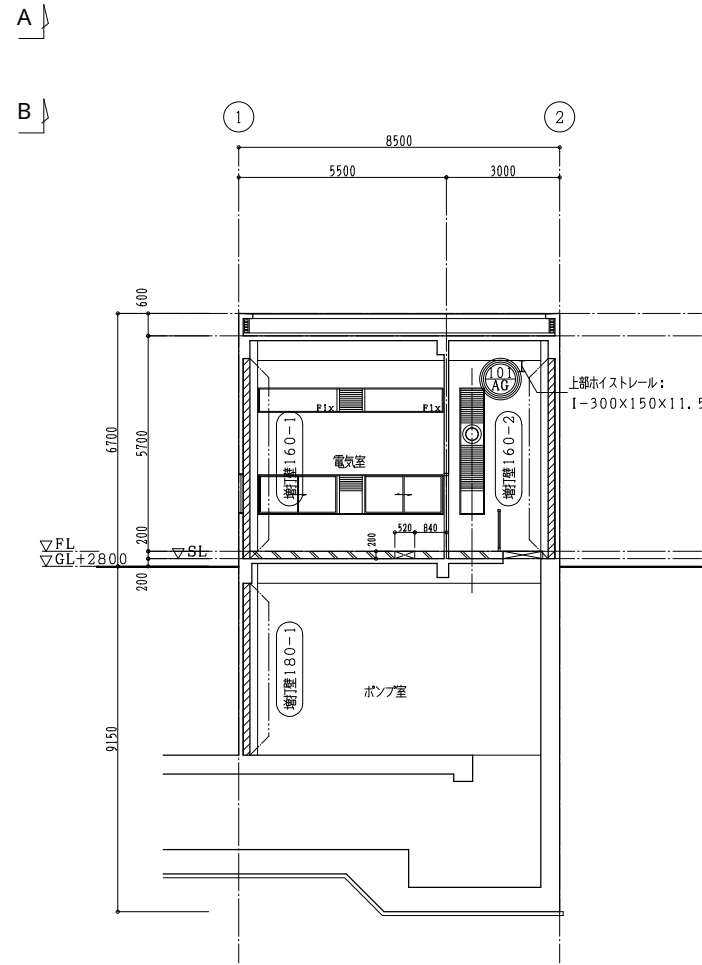
改修後



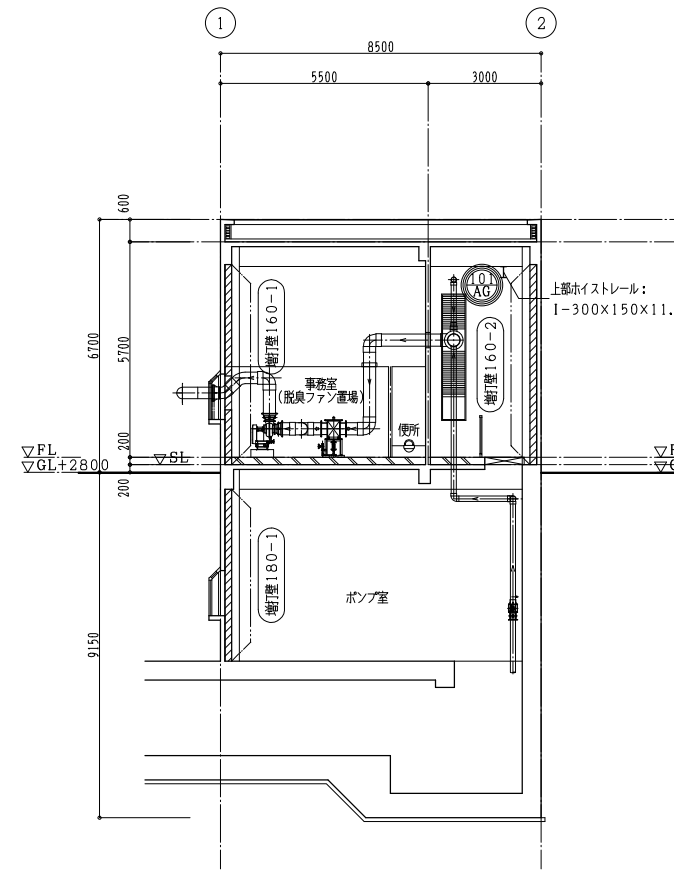
改修後1階平面図 S=1/100



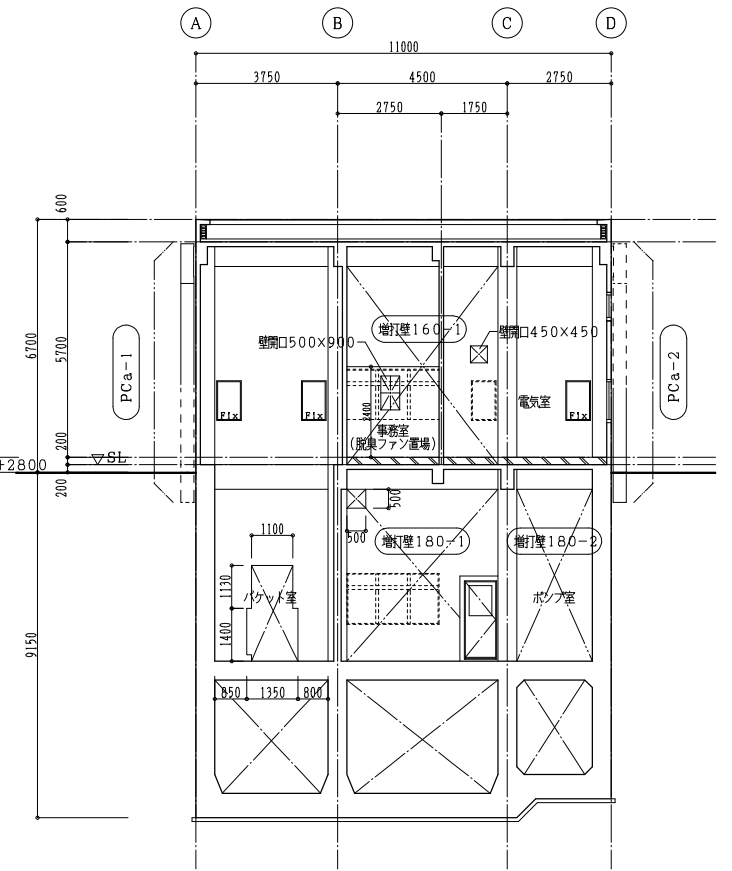
改修後B1階平面図 S=1/100



改修後A-A断面図 S=1/100



改修前B-B断面図 S=1/100



改修後C-C断面図 S=1/100

○(R) (S) — 是新設建具を示す。

○(O) (AG) — は改修後建具を示す。

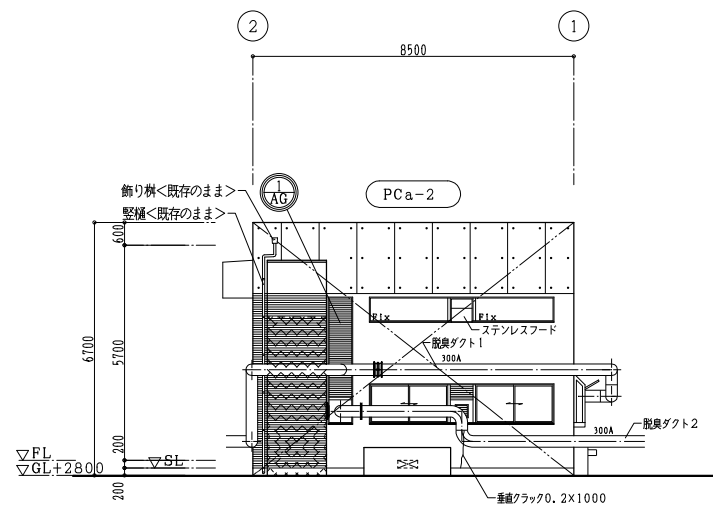
増打壁160-1 — は増打ち壁施工場所及び部分詳細図番号を示す。

PCa-1 — はプレキャストプレストレストコンクリートブレース施工場所及び部分詳細図番号を示す。

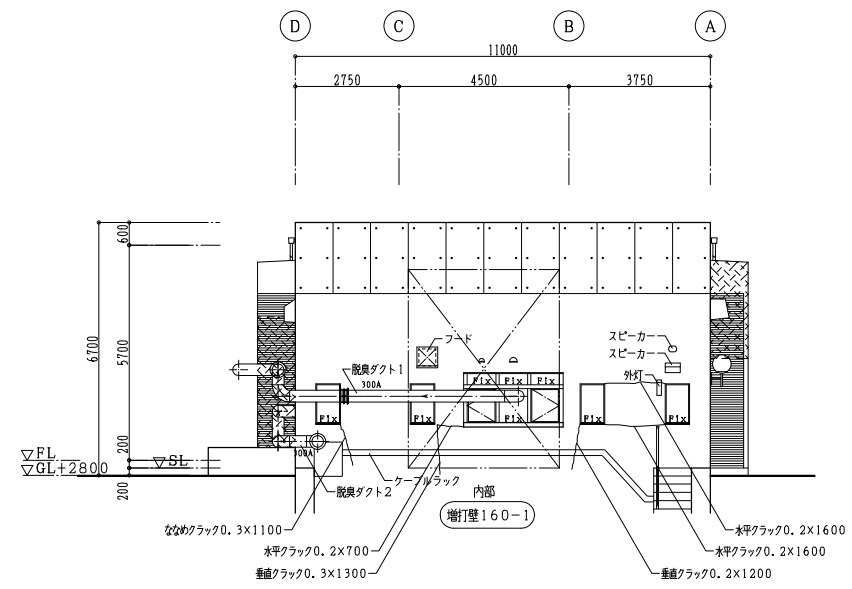
//// — は新設壁を示す。

共通事項：本工事に支障となるプラント設備（脱臭ダクト・電気設備）の撤去・復旧、移設は別途工事とする。

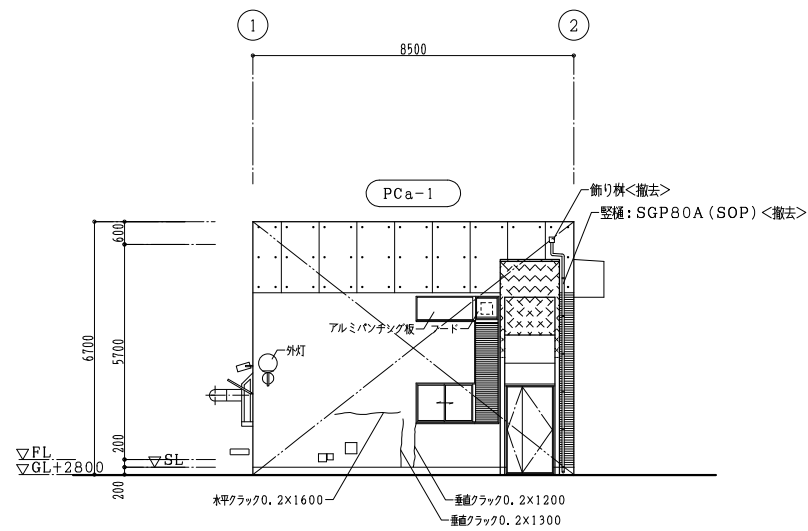
事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	改修後 平面図・断面図		
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図番	D-9



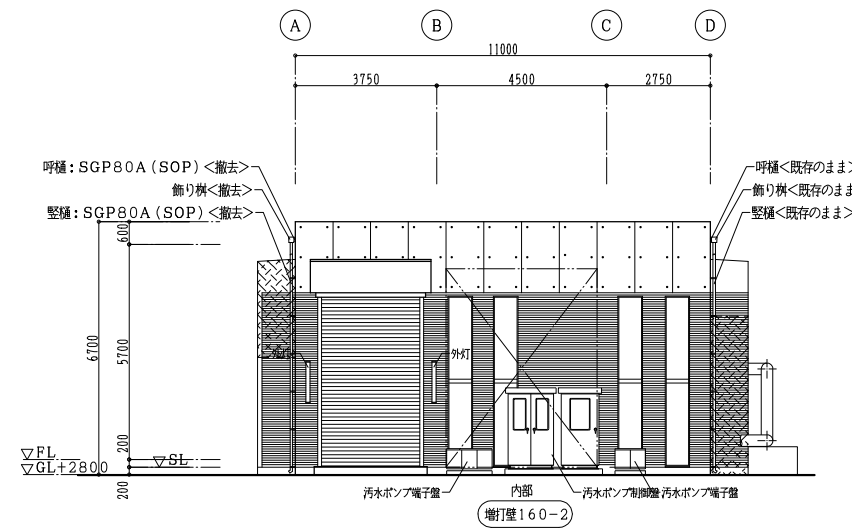
改修前北立面図 S=1/100



改修前西立面図 S=1/100



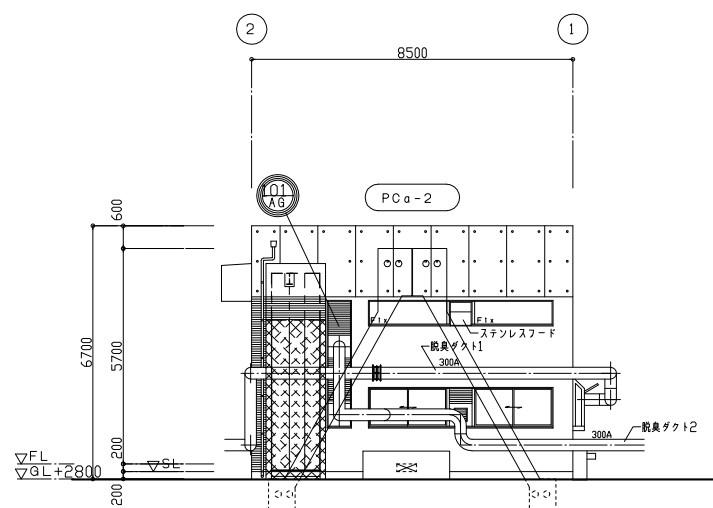
改修前南立面図 S=1/100



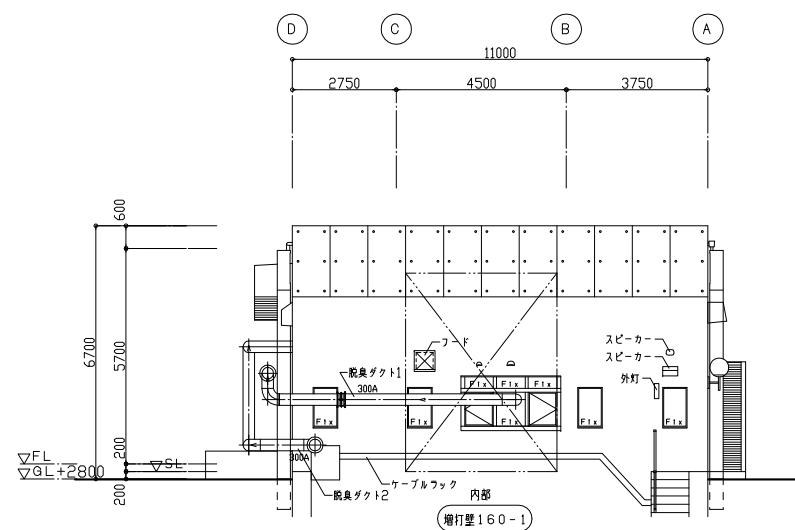
改修前東立面図 S=1/100

- PCa-1 はプレキャストプレストレストコンクリートプレース施工場所及び部分詳細図番号を示す。
- 増打壁160-1 は増打ち壁施工場所及び部分詳細図番号を示す。
- 改修前建具を示す。
- 部分は躯体・仕上撤去範囲を示す。

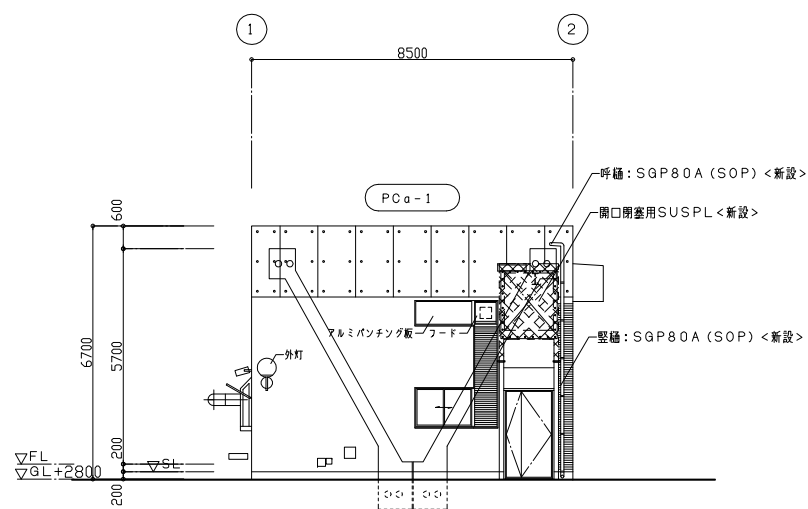
事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	改修前 立面図		
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	D-10



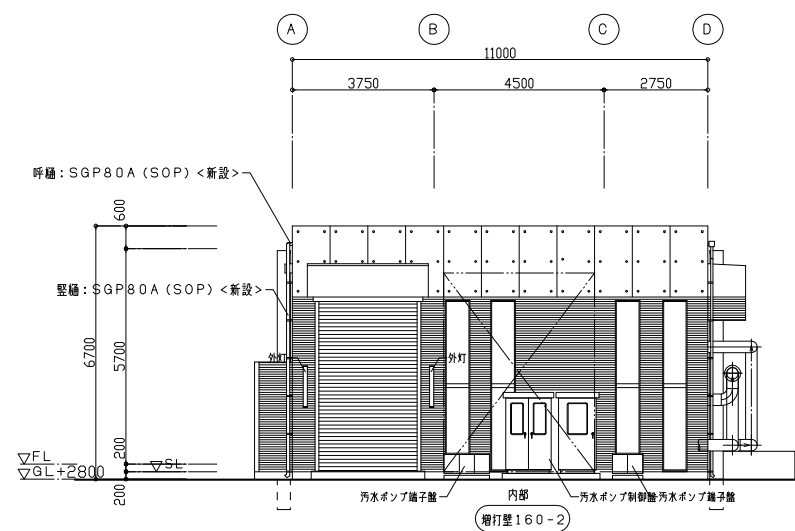
改修後北立面図 S=1/100



改修後西立面図 S=1/100



改修後南立面図 S=1/100



改修後東立面図 S=1/100

特記

・ 躯体新設部分の外壁仕上は複層塗材 (E) とする。

○1/AG は改造後建具を示す。

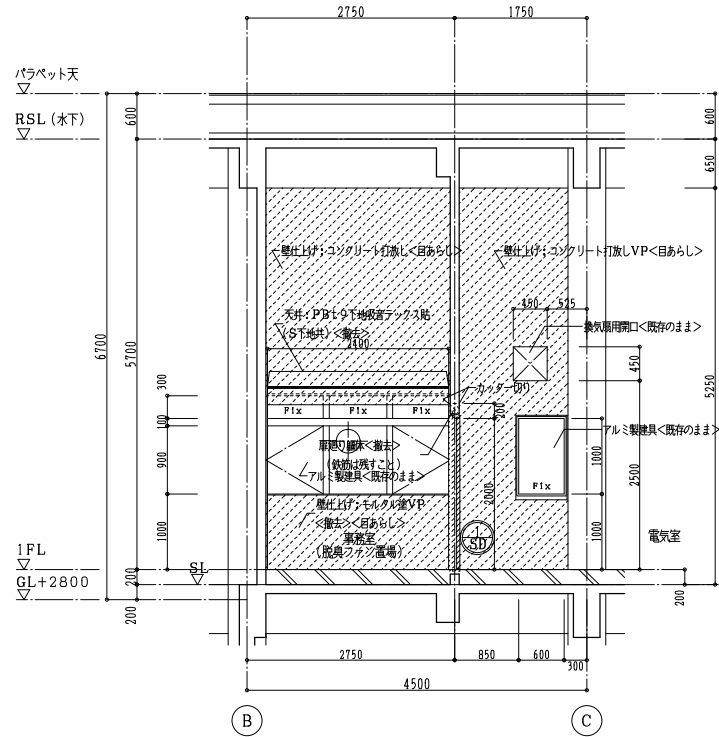
増打壁160-1 は増打ち壁施工場所及び部分詳細図番号を示す。

PCa-1 はプレキャストプレストレストコンクリートプレース施工場所及び部分詳細図番号を示す。

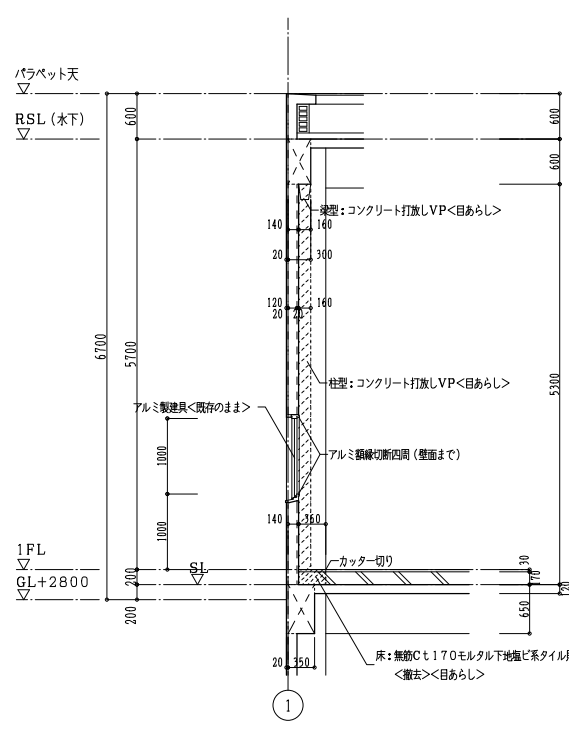
××××× 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

事業名	平成29年度公共下水道事業
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市日永東一丁目地内
名称	改修後 立面図
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200
設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者
事業主体	四日市市 上下水道局
図書番号	D-11

改修前

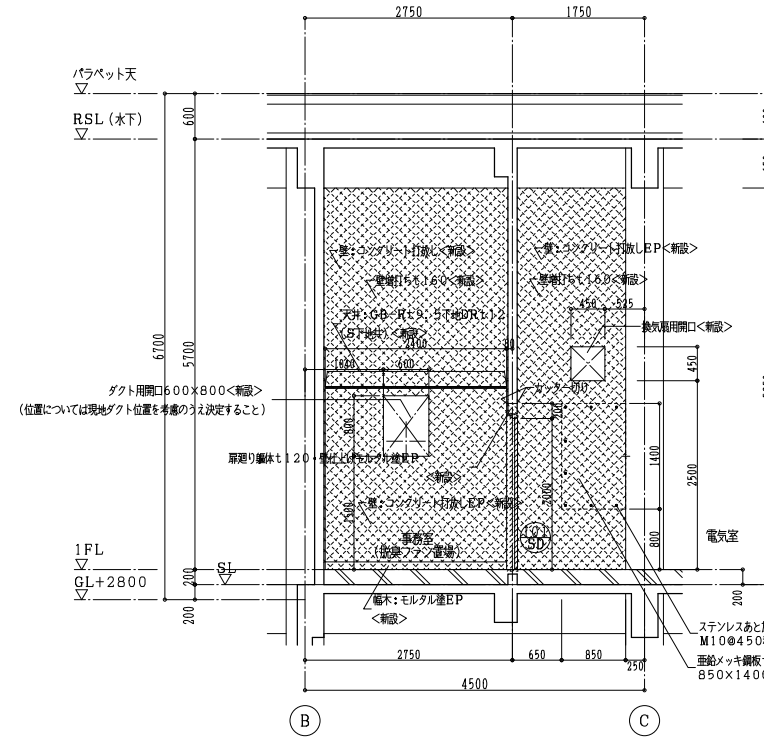


1通室内側 展開図

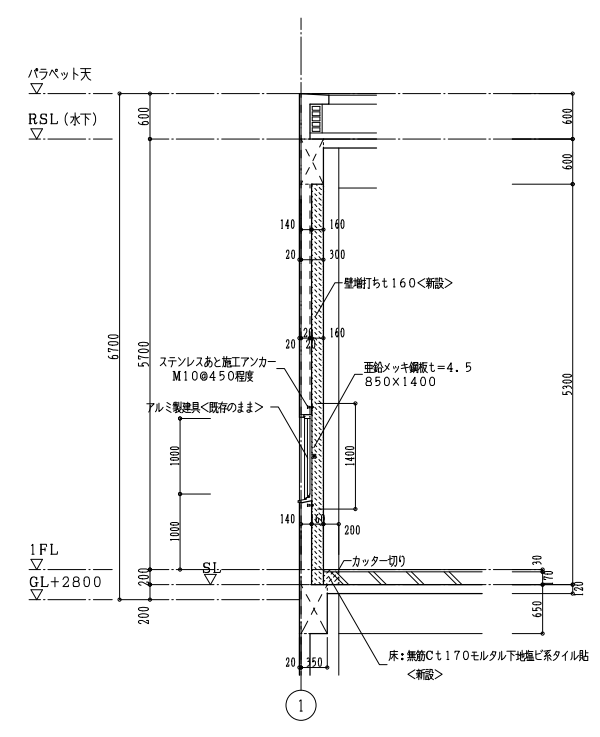


b-b断面詳細図

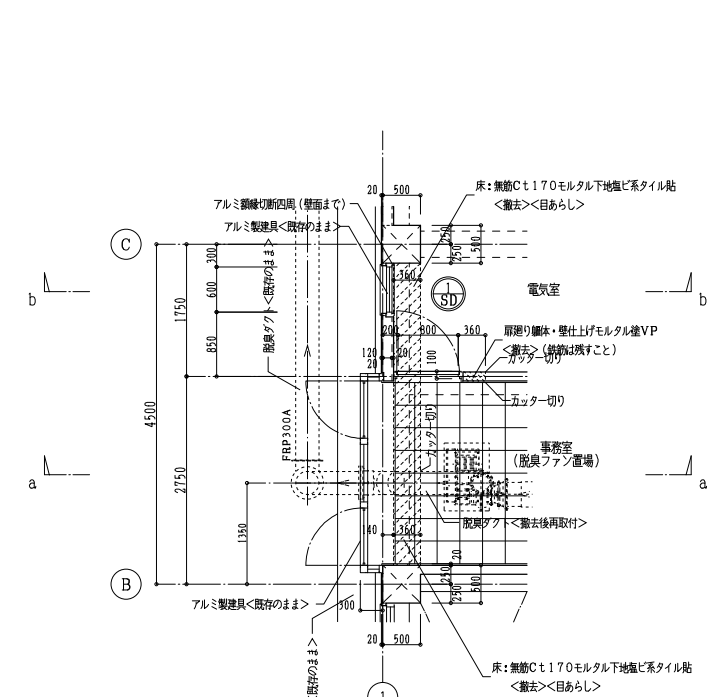
改修後



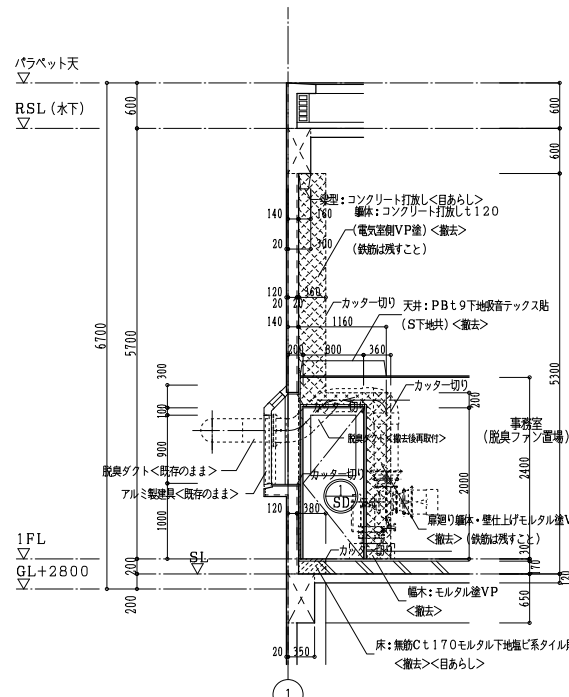
1通室内側 展開図



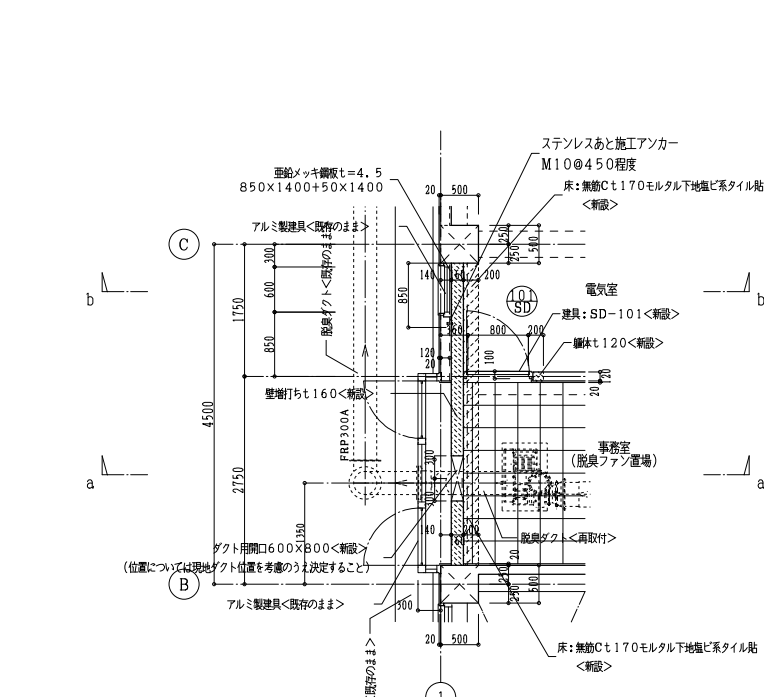
b-b断面詳細図



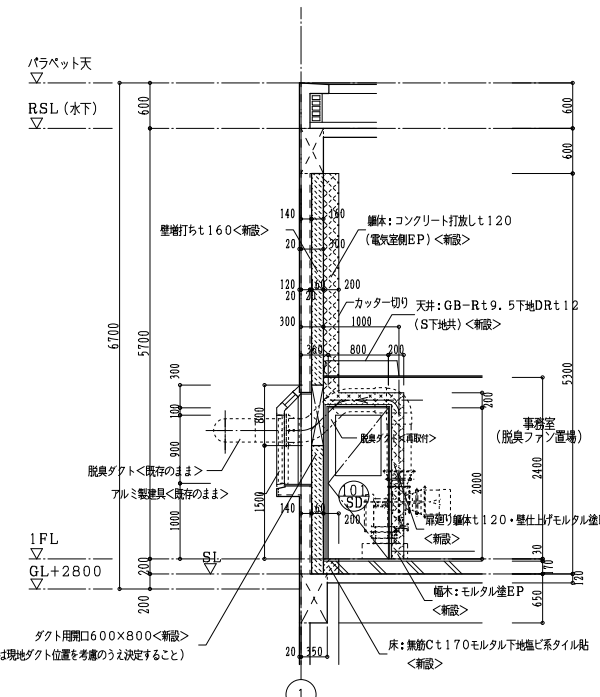
平面詳細図



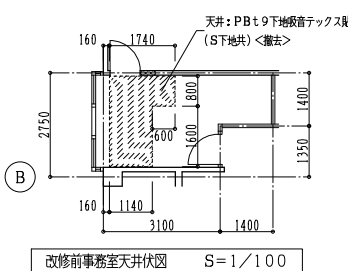
a-a断面詳細図



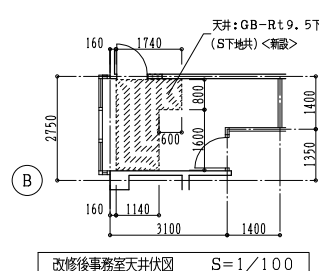
平面詳細図



a-a断面詳細図



改修前事務室天井伏図 S=1/100



改修後事務室天井伏図 S=1/100

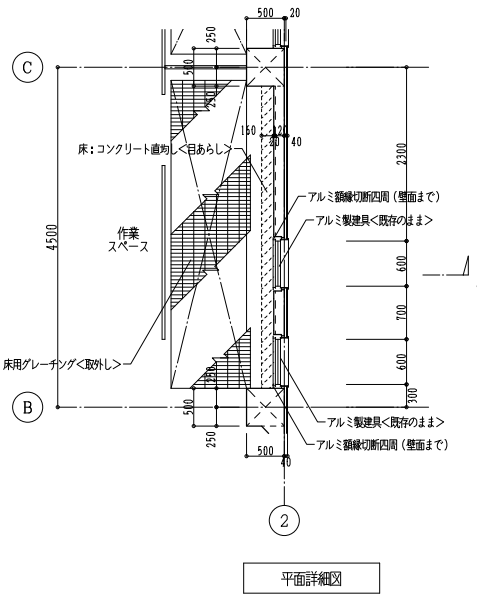
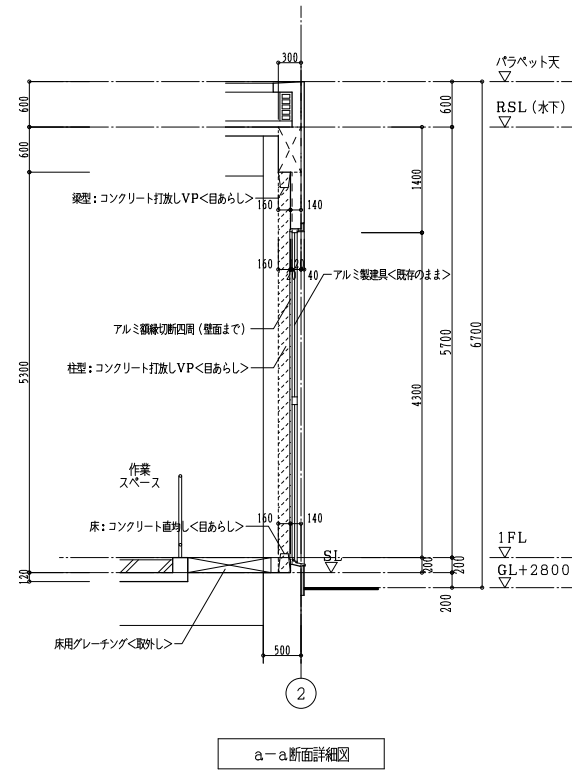
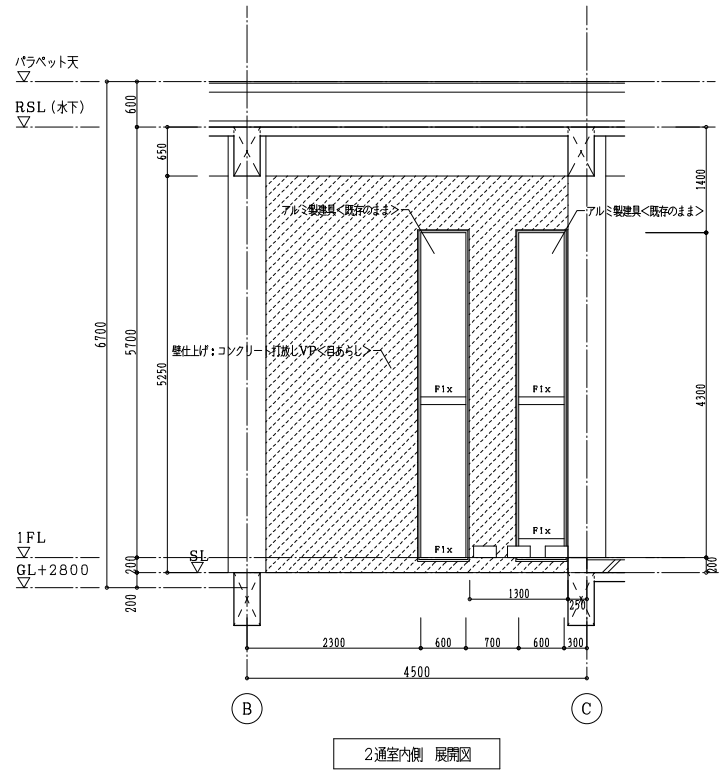
- 部分は仕上新設範囲を示す。
- 〇は撤去建具を示す。  
(撤去部分は四周鉄筋をはり出すこと)  
(開口閉塞部の躯体撤去部分は鉄筋を残すこと)  
(建具廻りのシーリング撤去すること)
- 部分は躯体撤去範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

注記  
 ・コンクリートはつり寸法は参考寸法とし、既存鉄筋の状態による。  
 ・既存コンクリートはつりは、カッター目地切り後行うこと。  
 ・既存壁はつり部はすべてカッター入れう0mm程度。  
 ・開口閉塞回り躯体撤去部分は新設壁の鉄筋を溶接するため既存鉄筋を残す事。  
 ただし溶接長さが足りない箇所は後施工アンカーとする。

- 部分は仕上新設範囲を示す。
- 〇は新設建具を示す。
- 部分は躯体撤去範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

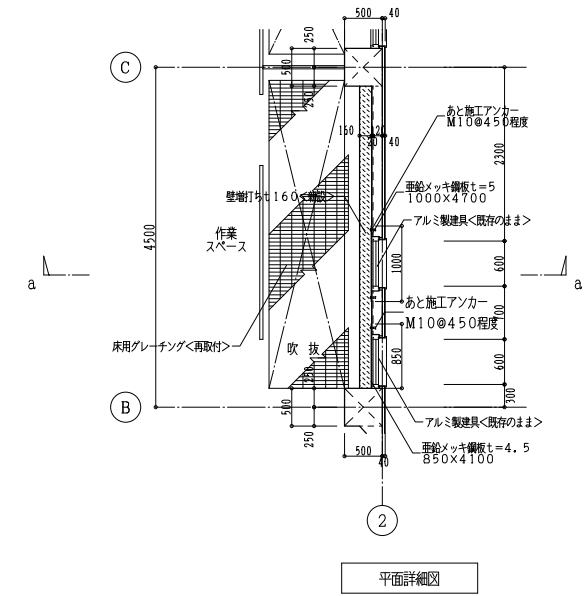
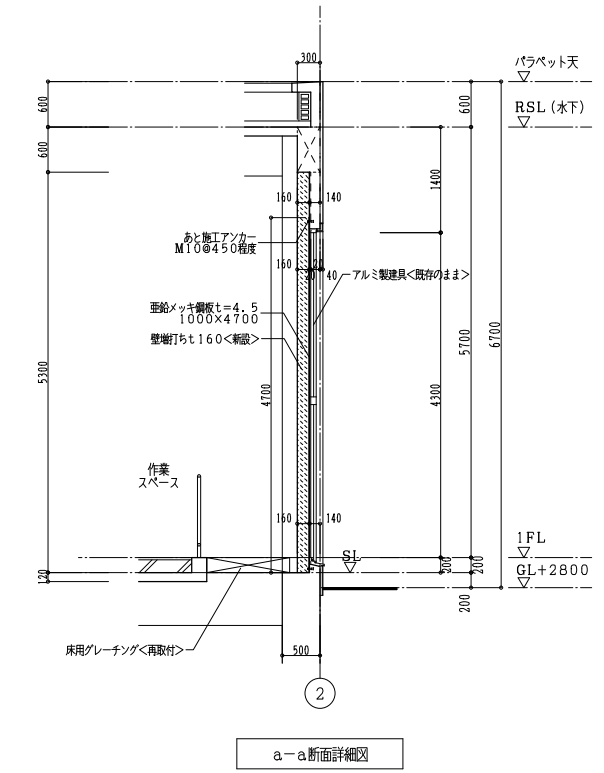
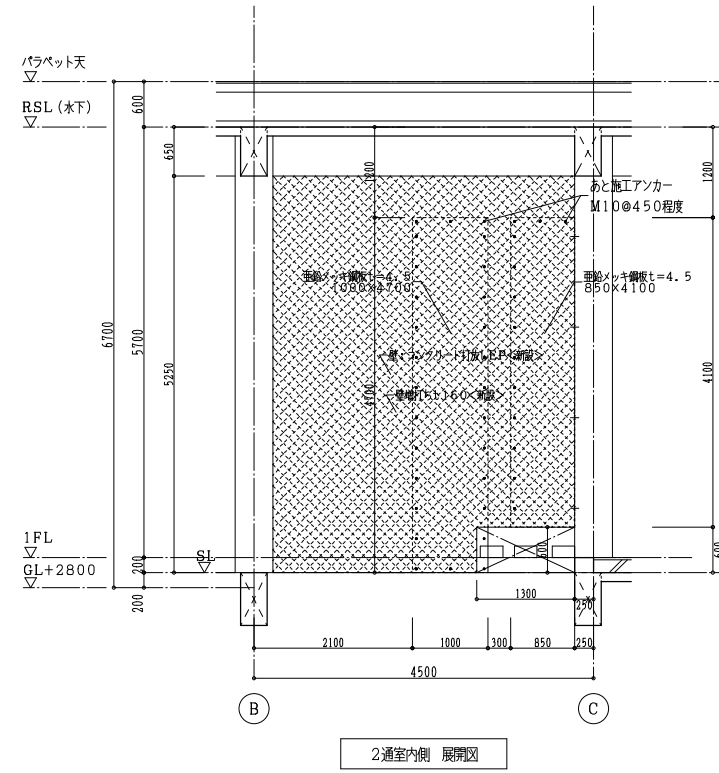
事業名	平成29年度公共下水道事業
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市日永東一丁目地内
名称	部分詳細図(1)
縮尺	A1 1/50 A2 1/100 A3 1/200
設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者
事業主体	四日市市 上下水道局
図面番号	D-12

改修前



- 部分は仕上撤去範囲を示す。
- 部分は躯体撤去範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上撤去範囲を示す。

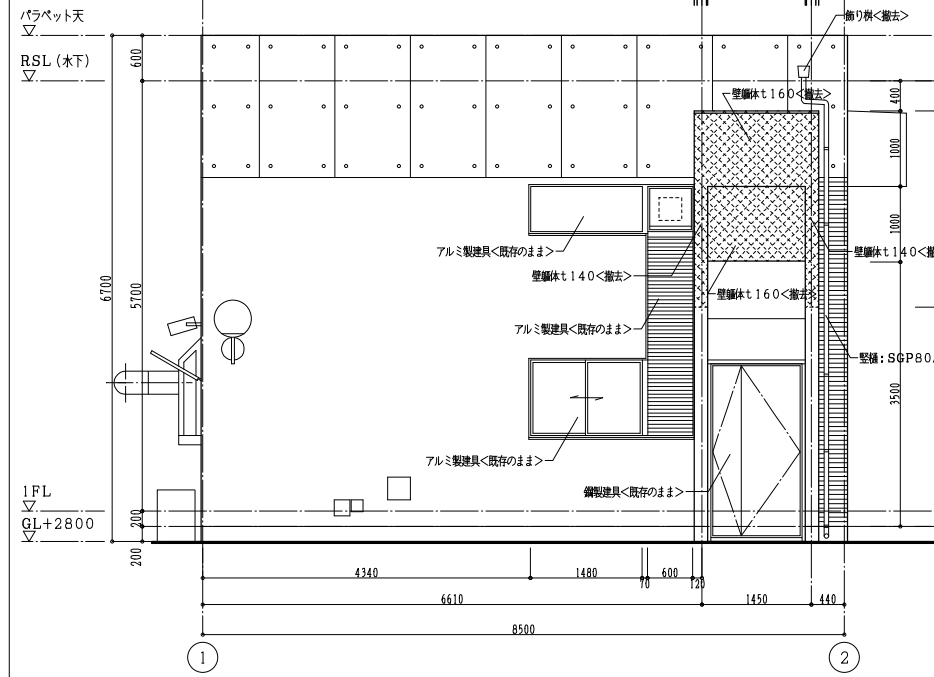
改修後



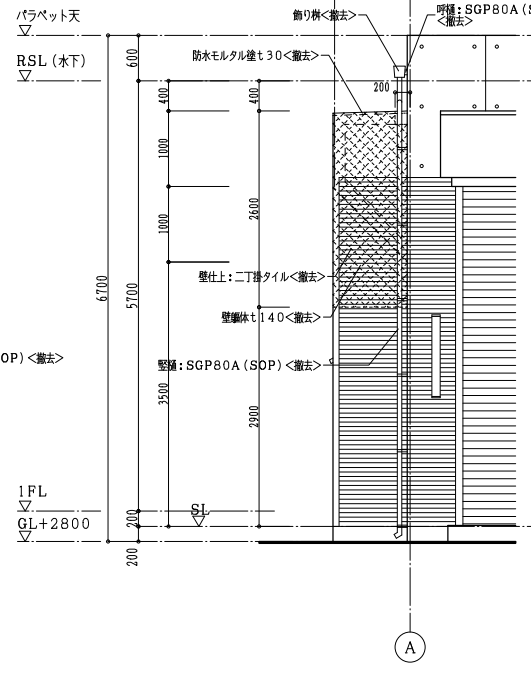
- 部分は仕上新設範囲を示す。
- 部分は躯体新設範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	部分詳細図(2)		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	D-13

改修前

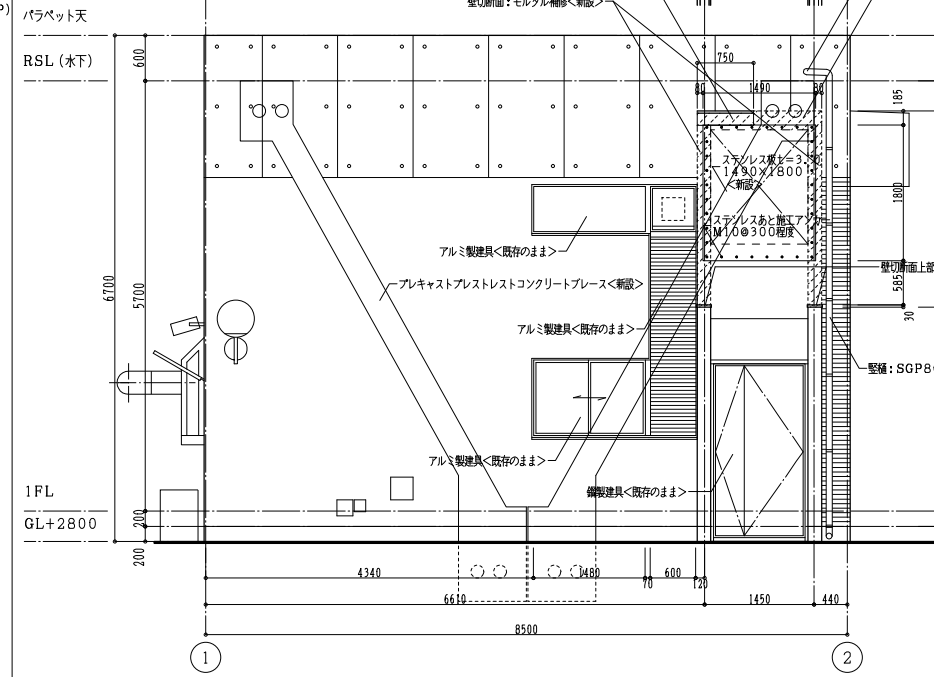


南側立面図

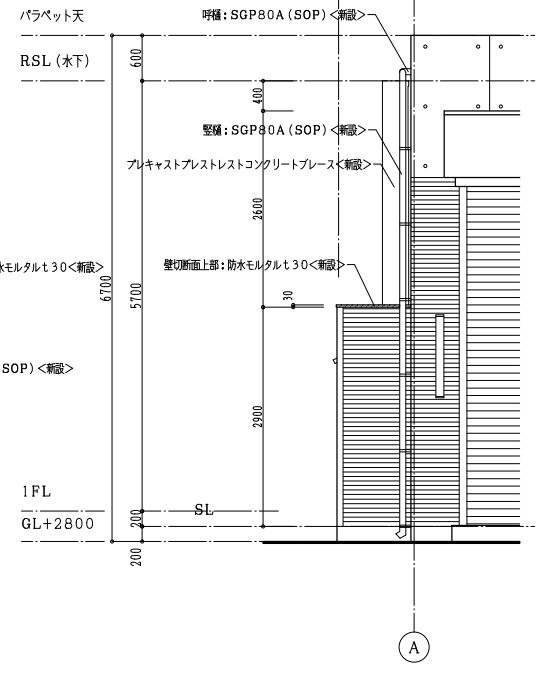


東側立面図

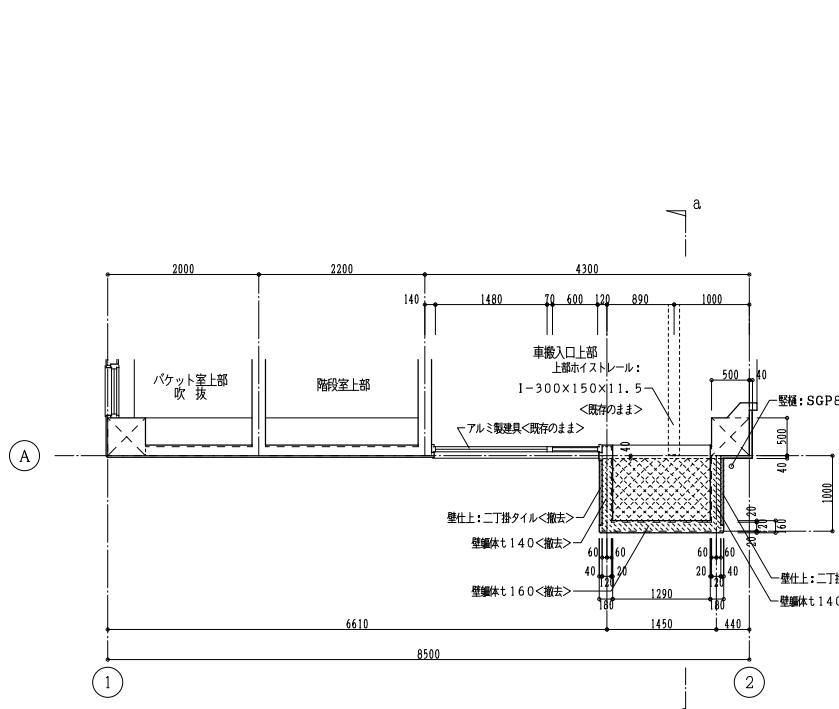
改修後



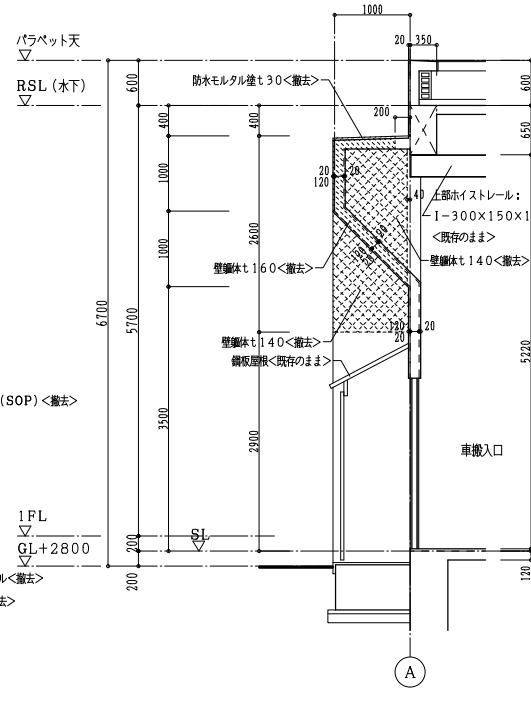
南側立面図



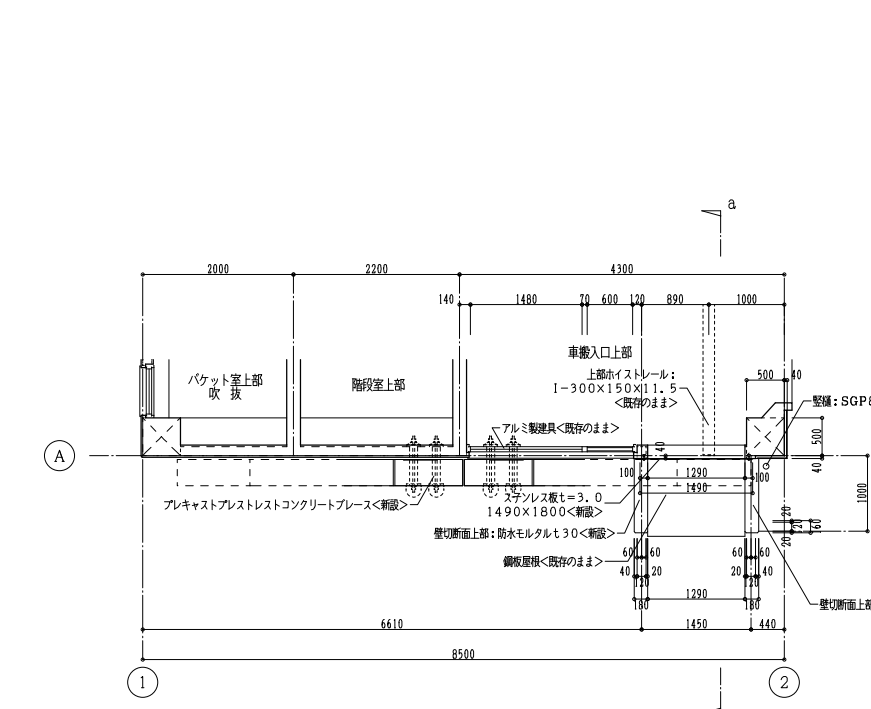
東側立面図



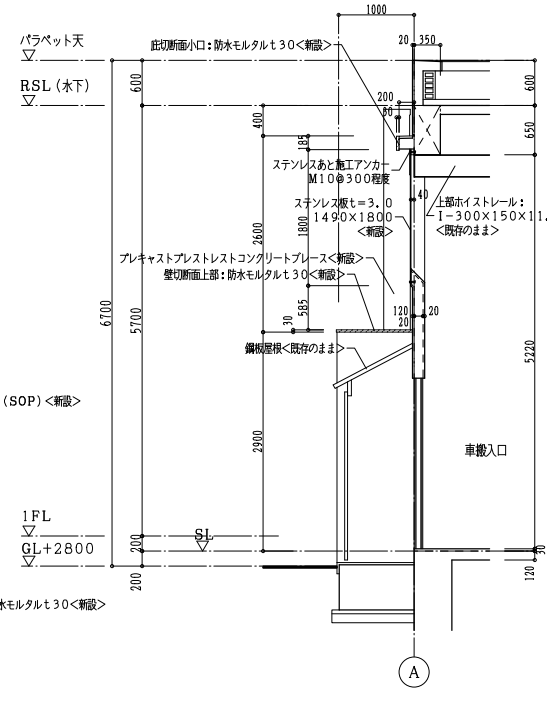
平面詳細図



a-a断面詳細図



平面詳細図



a-a断面詳細図

- 部分は仕上撤去範囲を示す。
- 部分は躯体撤去範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上撤去範囲を示す。

注記  
 ・コンクリートは寸法は参考寸法とし、既存鉄筋の状態による。  
 ・既存コンクリートはつりは、カッター目地切り後行うこと。  
 ・既存壁はつり部はすべてカッター入れ30mm程度。

- 部分は仕上新設範囲を示す。
- 部分は躯体新設範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

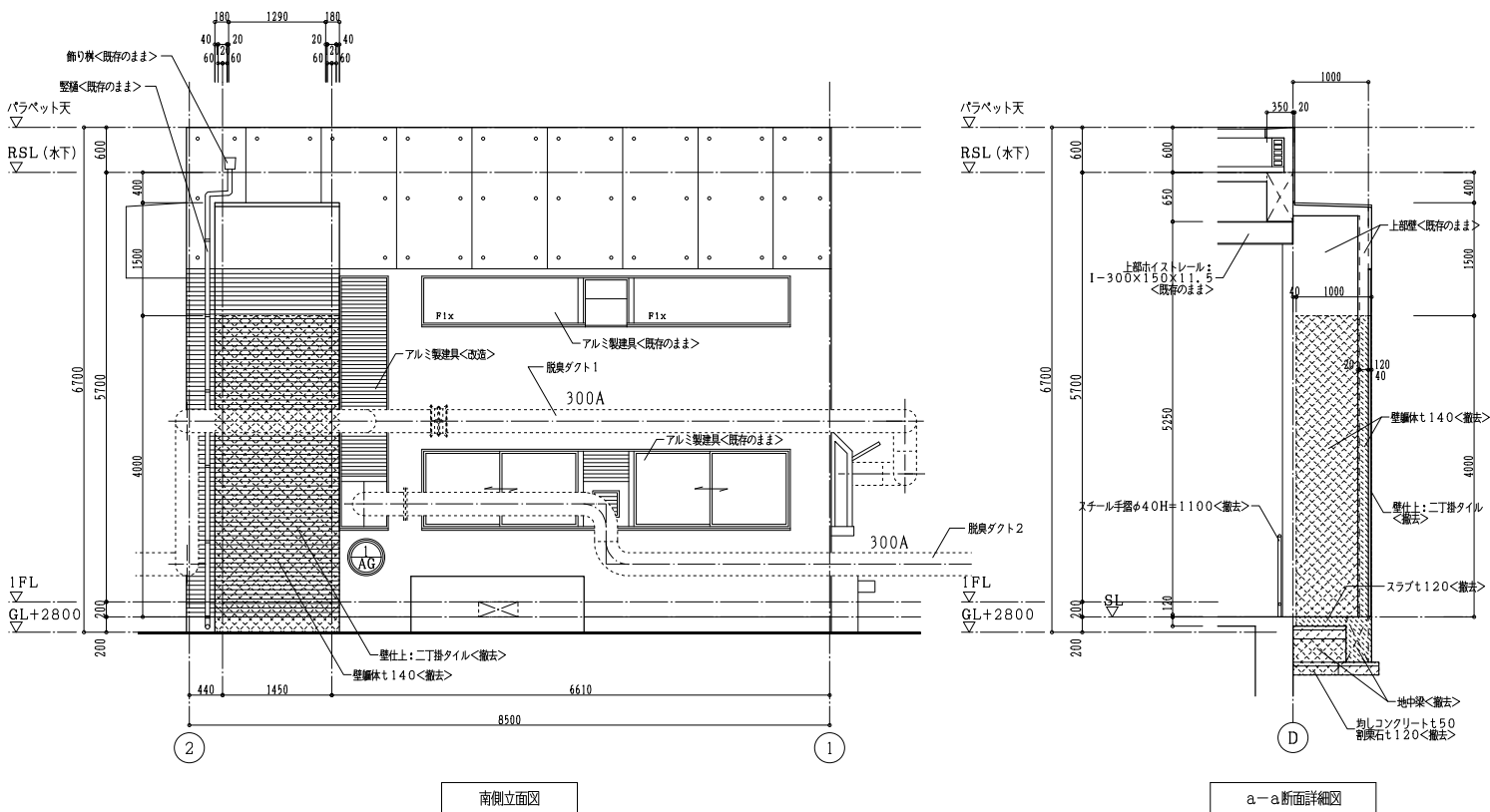
注記  
 ・詳細寸法は現地建物を確認の上決定すること。  
 ・便所への給水管・復旧は本工事に含む。

共通事項：本工事に支障となるプラント設備（脱臭ダクト・電気設備）の撤去・復旧、移設は別途工事とする。

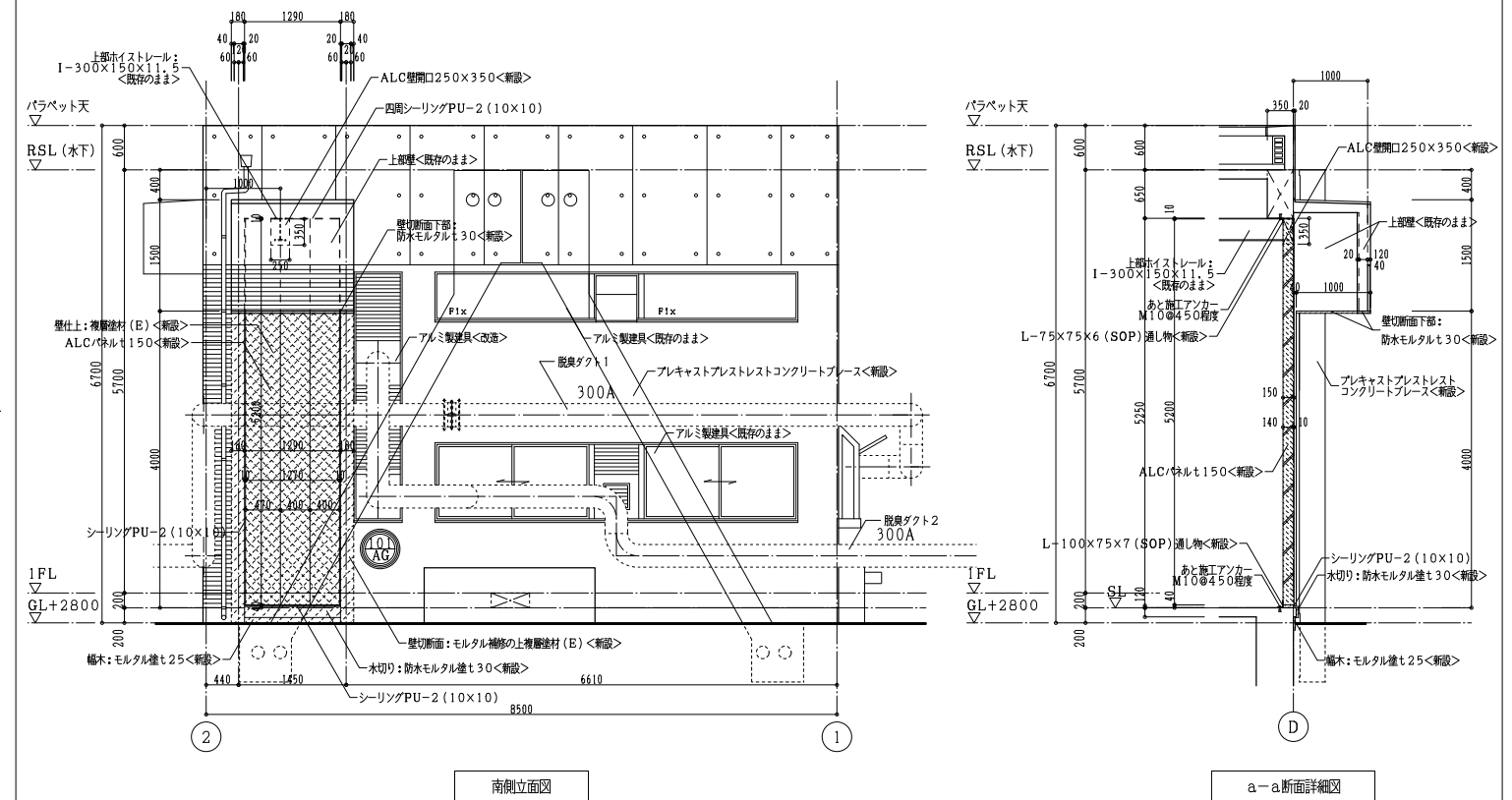
事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	部分詳細図(3)		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図番	D-14



改修前



改修後



- 部分は仕上撤去範囲を示す。
- は改造前建具を示す。
- 部分は躯体撤去範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上撤去範囲を示す。

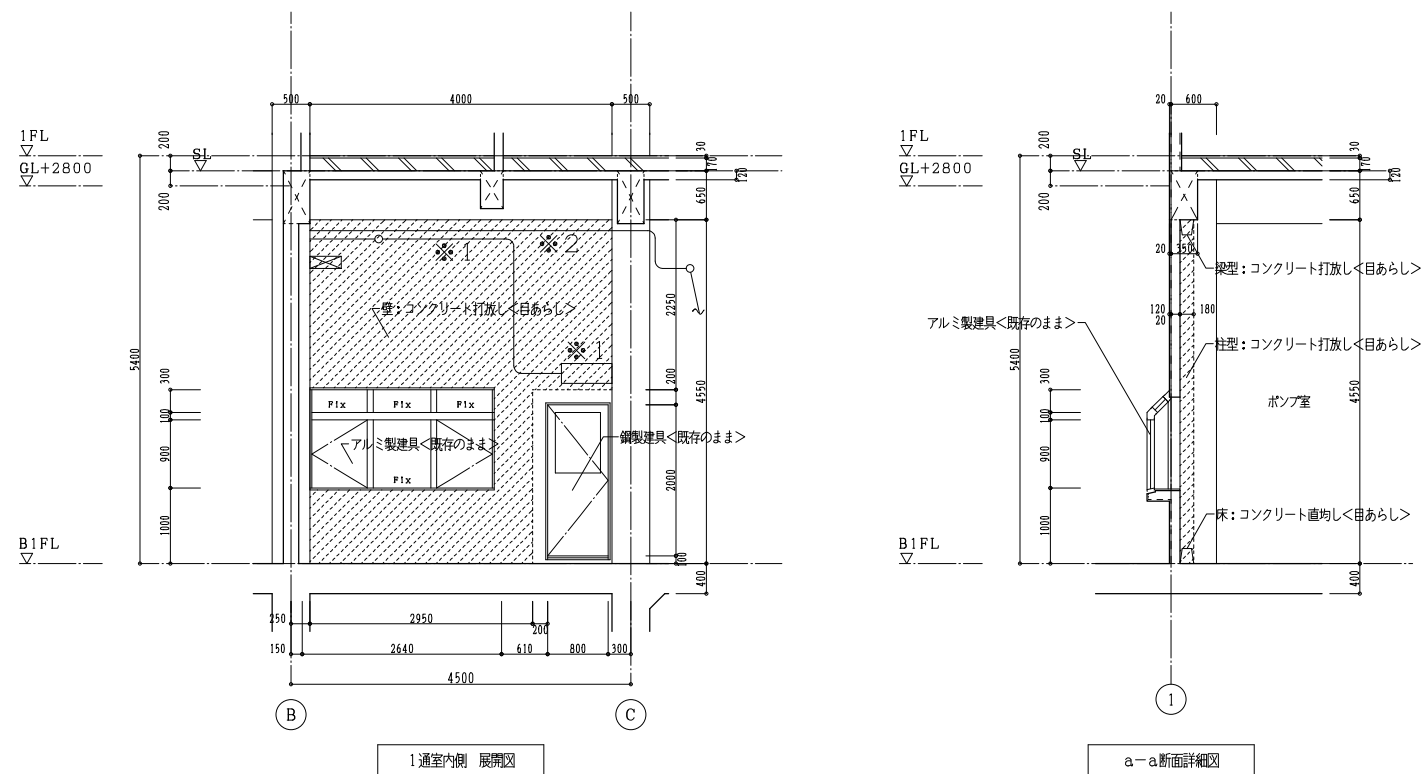
注記  
 ・コンクリートは寸法は参考寸法とし、既存状態の状態による。  
 ・既存コンクリートはつりは、カッター目地切り後行うこと。  
 ・既存壁はつり部はすべてカッター入れ30mm程度。

- 部分は仕上新設範囲を示す。
- は改造後建具を示す。
- 部分は躯体新設範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

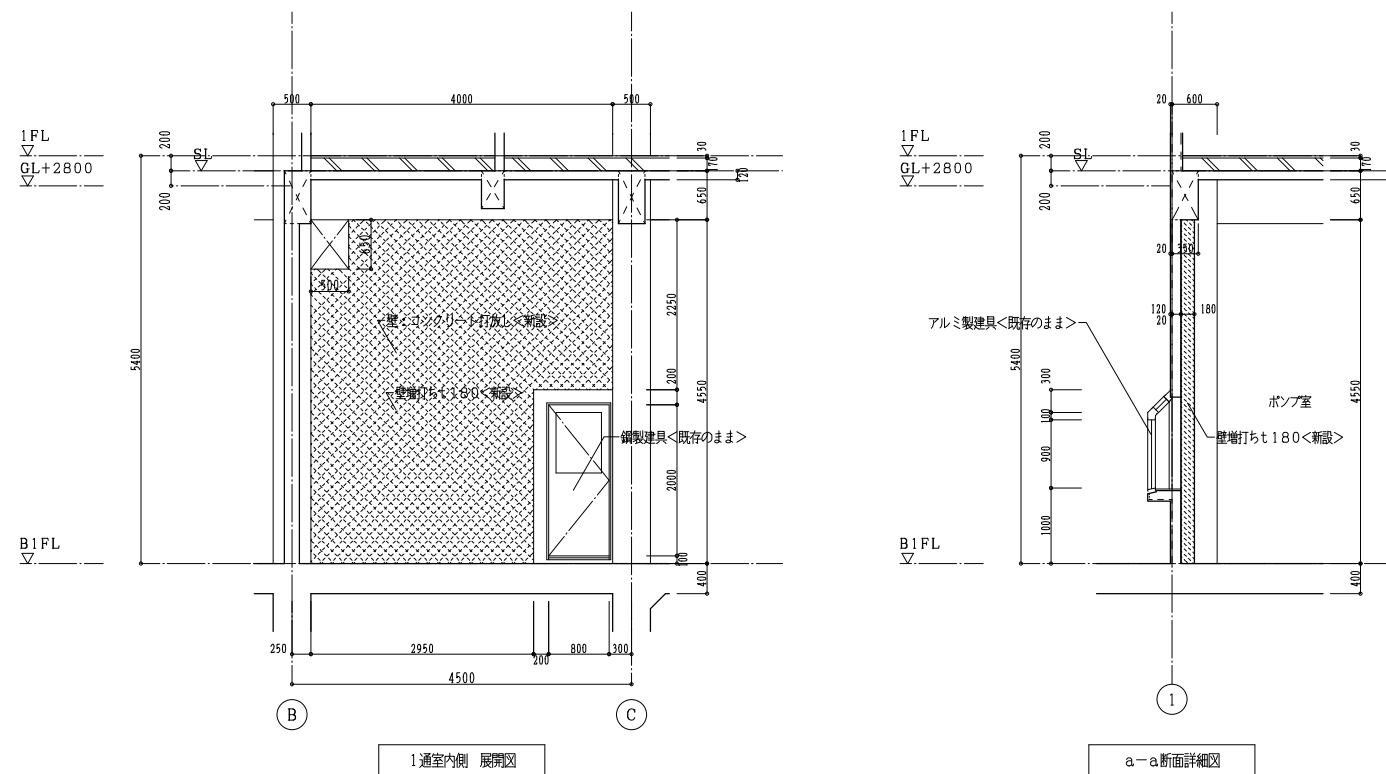
注記  
 ・詳細寸法は現地建物を確認の上決定すること。

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	部分詳細図(4)		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図番	D-15

改修前



改修後

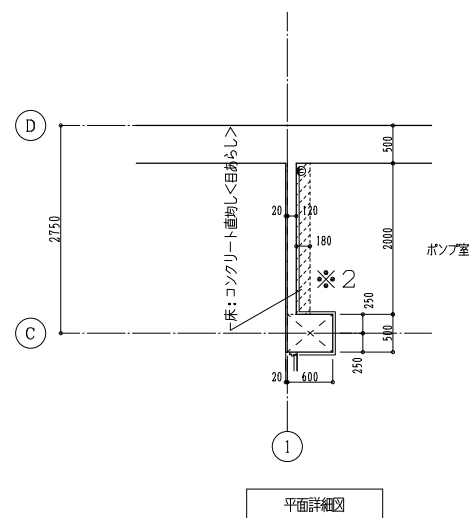
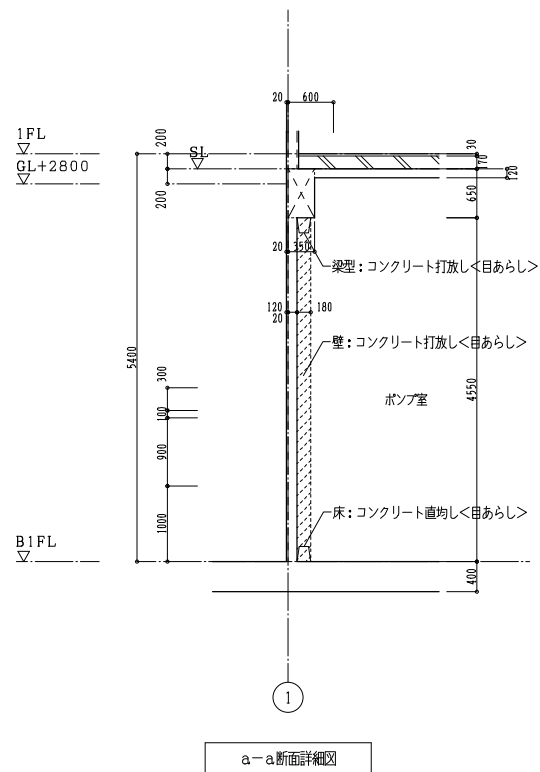
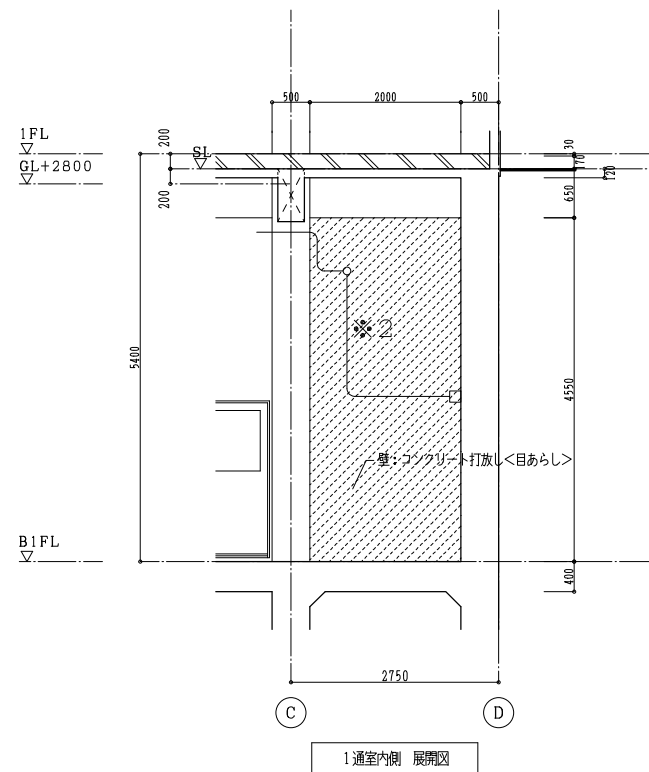


- ※1 ..... 総合盤、配管径線<1.2x6 HIV1.2x2(19)>撤去
- ※2 ..... 露出ボックス・コンセント、配管径線<2.0x2(19)>撤去
- ..... 部分は仕上新設範囲を示す。
- ..... 部分は躯体撤去範囲を示す。
- ..... 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

- ..... 部分は仕上新設範囲を示す。
- ..... 部分は躯体撤去範囲を示す。
- ..... 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

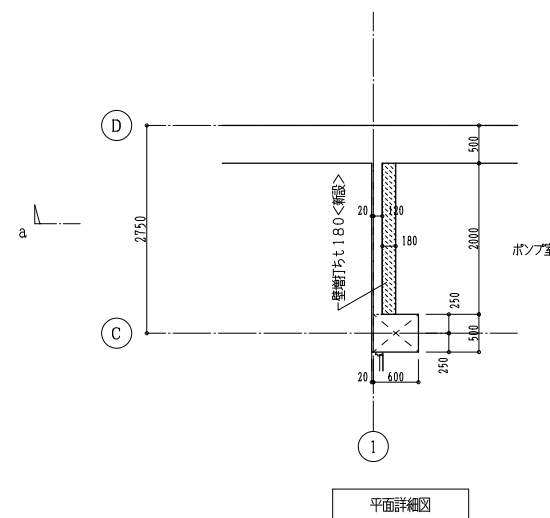
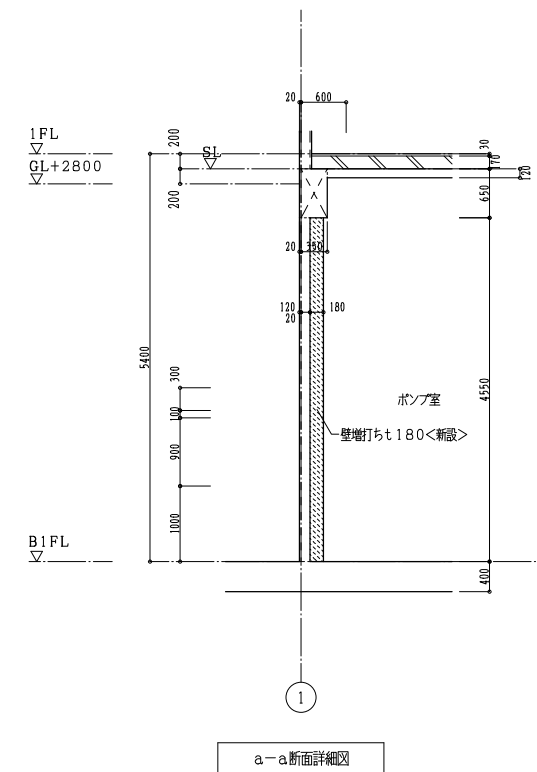
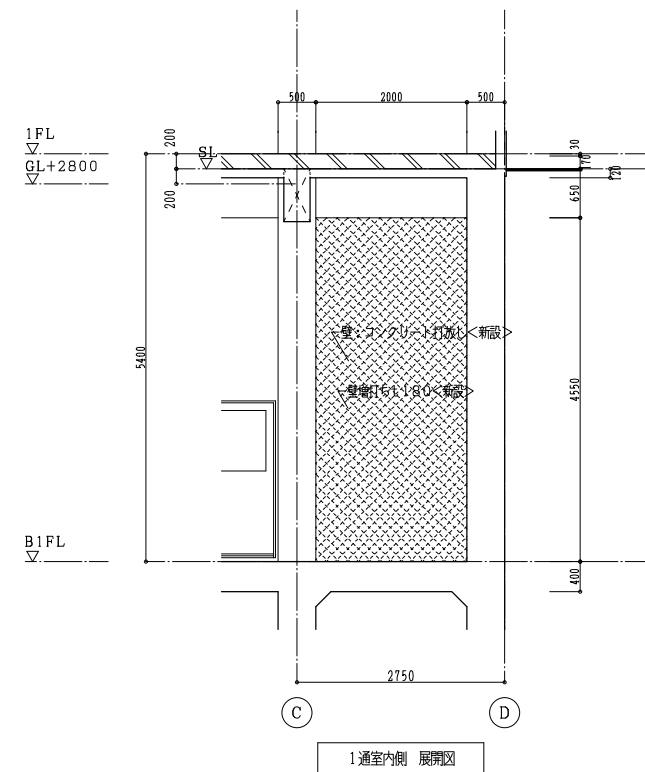
事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	部分詳細図(5)		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	D-16

改修前



- ※2 ----- 露出ボックス・コンセント、配管径 $\lt 2.0 \times 2(19) \gt$ 撤去
- 部分は仕上撤去範囲を示す。
- 部分は躯体撤去範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上撤去範囲を示す。

改修後



- 部分は仕上新設範囲を示す。
- 部分は躯体新設範囲を示す。
- 部分は躯体・仕上新設範囲を示す。

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	部分詳細図(6)		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図書番号	D-17

改修前撤去建具リスト

記号	開口種別	幅 × 高さ	建具見込 W	建具枠		ガラス	個数	備考：場所（個数）	記号	開口種別	幅 × 高さ	建具見込 W	建具枠		ガラス	個数	備考：場所（個数）	
				W	撤去の有無								W	撤去の有無				
101 SD	鋼製片開き扉（内部）	800 × 2000	40	100	撤去	600×800 (NP t6.8)	1	1階事務室（脱臭ファン置場）										

改修後新設建具リスト

符号	名称	個数	101 SD	鋼製片開き扉（内部）	1カ所
場所					
1階事務室（脱臭ファン置場）					
仕上（枠共）					
SOP					
建具	見込（ランマ）	40			
	硝子（ランマ）	NP t6.8			
	ガラリ				
建具枠	見込取合 沓摺	100			
枠記号	沓摺（水切）記号	S-5	a		
建具金物	ステンレスT番（3） DC（ストップなし） シリンダ本締め錠 戸当りレバーハンドル				
その他					
防火設備					
形状・寸法					
符号					
名称					
個数					
場所					
仕上（枠共）					
建具	見込（ランマ）				
	硝子（ランマ）				
	ガラリ				
建具枠	見込取合 沓摺				
枠記号	沓摺（水切）記号				
建具金物					
その他					
形状・寸法					

改造建具リスト

符号	名称	個数	1 AG	アルミ製固定ガラリ（内部） <改造前>	1カ所	101 AG	アルミ製固定ガラリ（内部） <改造後>	1カ所
場所								
1階作業スペース								
仕上（枠共）								
SOP								
建具	見込（ランマ）							
	硝子（ランマ）							
	ガラリ							
建具枠	見込取合 沓摺							
枠記号	沓摺（水切）記号							
建具金物								
その他								
形状・寸法								

- 共通事項
- 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締め付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締め錠とする。
  - パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締め錠（特記なき限り同一キー）とする。（内部はサムターン付）
  - 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
  - AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（防火戸を除く）をつける。壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）
  - 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。
  - アルミニウム製窓の締め金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
  - 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締め錠付きとする。
  - 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。（枠廻り詳細による。）
  - 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
  - 防火戸の位置は建具配置図による。
  - 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
  - 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。
  - 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。
  - 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

建具種別	戸		ガラリ	オーバーヘッド		紙障子	ふすま	シャッター	網戸			
	A	D		A	G							
アルミニウム製	A	D	A	W	A	G			A	S	a	W
鋼製	S	D	S	W	S	G			S	S		
鋼製軽量	L	D							L	S		
ステンレス製	S	S	S	S	S	S			S	S	S	
木製	W	D	W	W	W	G	P	H				

ガラス種別	金物		ガラス種別			
	D	C		ドアクローザー		
	F	型板ガラス		A	H	オートヒンジ
	P	フロート板ガラス		F	H	フロアヒンジ
N	網入型板ガラス	P	H	ピボットヒンジ		
NP	網入みがき板ガラス					

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	撤去・新設建具リスト		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図番番号	D-18

# 建具枠回り詳細及び記号 (鋼製建具)

## 鋼製建具 (一般)

(---)は標準図番号に準ずる

## くつすり

S-1 平面 断面 4-22-1	S-7 平面 断面 (4-22-1)	S-13 平面 断面 4-23-4
S-2 平面 断面 4-22-2	S-8 平面 断面 (4-22-2)	S-14 平面 断面 4-25-1
S-3 平面 断面 4-22-3	S-9 平面 断面 (4-22-3)	S-15 平面 断面 (4-41-2)
S-4 平面 断面 (4-22-1)	S-10 平面 断面 (4-24-3)	S-16 平面 断面 (4-41-3)
S-5 平面 断面 (4-22-2)	S-11 平面 断面 4-24-3	S-17 平面 断面 4-42-2
S-6 平面 断面 (4-22-3)	S-12 平面 断面 4-23-3	S-18 平面 断面 4-42-3

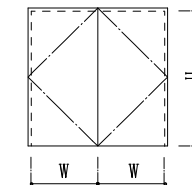
a SUS304 t1.5 4-31-1 4-31-5	d SUS304 t1.5 4-31-4	g SUS304 t1.5 SUS304 t1.5 4-41-2 4-42-2
b 目地構SUS 4.0x12 4-31-2	e テラノブロック 4-31-6	h SUS304 t1.5 クロアレン SUS304 t1.5 SUS304 t1.5 (4-43-2) (4-44-2)
c 仕上げ材が異なる場合の見切線 4-31-3	f SUS304 t1.5 SUS304 t1.5 (4-41-2) (4-42-2)	i SUS304 t1.5 クロアレン SUS304 t1.5 SUS304 t1.5 (4-43-2) (4-44-2)

## 大型、気密ドアの仕様

	大型鋼製建具 (外部用)	大型鋼製建具 (内部用)	気密型 鋼製建具
姿 図			
一般丁番 (150)	H > 2,400 W > 950	H > 2,400 W > 950	H ≥ 2,100 W ≥ 950
大型丁番	形状別扉見込寸法、丁番表による。		形状別扉見込寸法、丁番表による。

※ 扉面積2.5㎡ 以上の場合は大型戸当り、あおり止めを設ける。

## ドア見込み及び丁番表



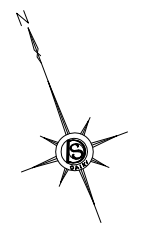
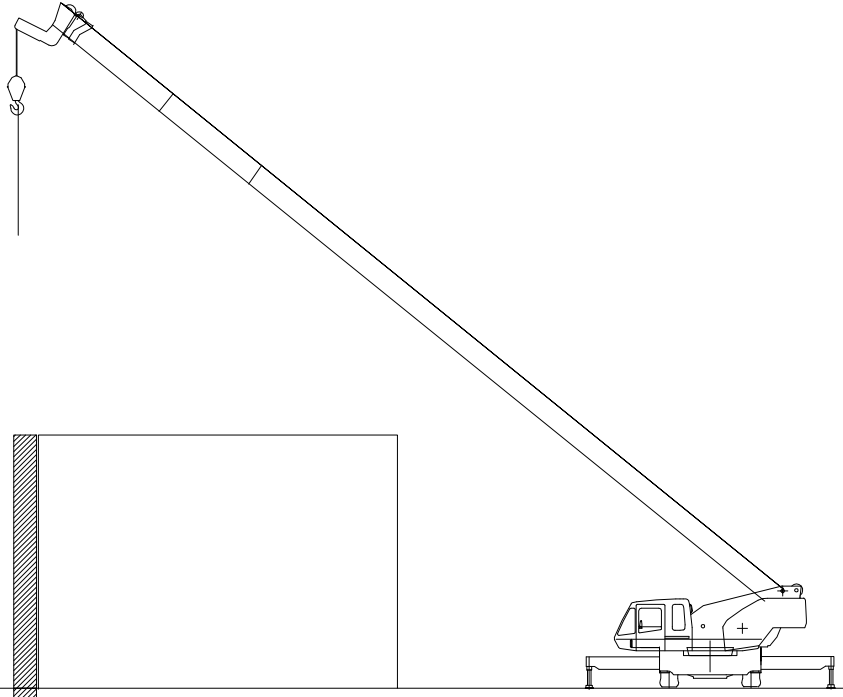
- [ ]内数値は扉の見込寸法を示す。
- ※は「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編)」による。

H	W	950以下		1,250未満		1,500未満		1,750未満	
		大型	気密	大型	気密	大型	気密	大型	気密
2,000未満	*	[40] 一般 (150) 3枚	[40] 一般 (150) 3枚	[40] 一般 (150) 3枚	[50] 大型 3枚	[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	
2,400以下	*	[50] 一般 (150) 3枚	[40] 一般 (150) 3枚	[50] 大型 3枚	[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	
3,000未満		[50] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 3枚	
3,500未満			[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚	[60] 大型 3枚	[80] 大型 4枚	

- 特記なき限り外部はシリンダ箱錠 (内部サムターン) とし内部は本締り付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。
- パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠 (特記なき限り同一キー) とする。(内部サムターン付)
- 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。
- AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め (防火戸は除く) をつける。壁仕上げボード類等の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)
- 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付とする。
- アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。
- 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。
- 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。
- 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。
- 防火戸の位置は建具配置図による。
- 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行なわないものとする。
- 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。
- 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。
- 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

種 別	戸	窓	ガラリ	オートドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW
鋼 製	SD	SW	SG	SOD			SS	
鋼製車巻量	LD						LS	
ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS	
木 製	WD	WW	WG		P	H		
F 型板ガラス				D	C		ドアクローザー	
P フロート板ガラス				A	H		オートヒンジ	
N 網入型板ガラス				F	H		フロアヒンジ	
N P 網入みがき板ガラス				P	H		ピボットヒンジ	

事業名	平成29年度公共下水道事業
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市日永東一丁目地内
名称	建具枠回り詳細及び記号 (鋼製建具)
縮尺	— 設計年月日 平成 年 月 日
工種	設計者
事業主体	四日市市 上下水道局 図面番号 D-19

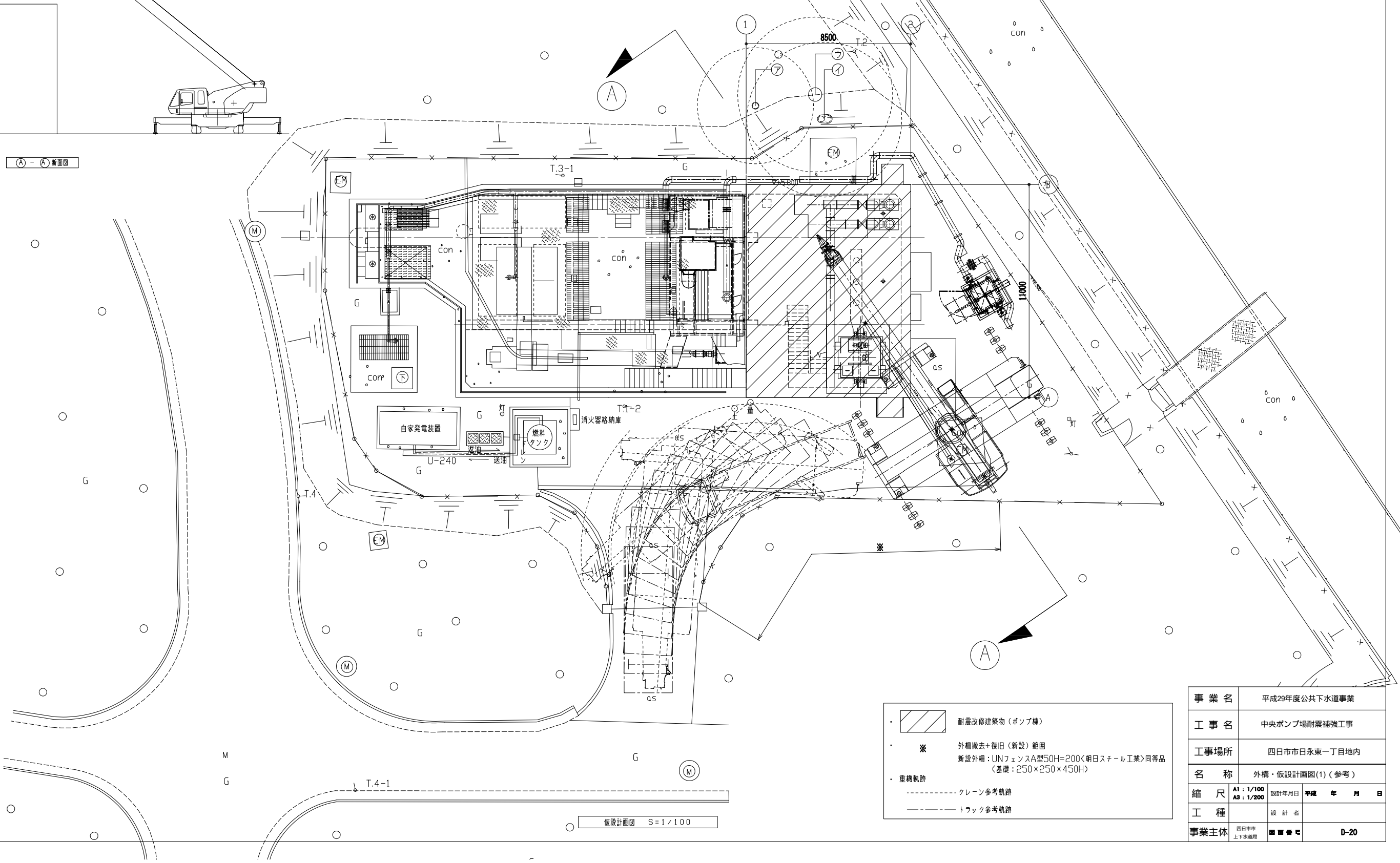


伐木対象樹木

記号	名称	H	C	W	数量	単位	備考
㊦	サクラ	7.0	1.02	6.0	1	本	
㊧	サクラ	10.0	2.15	8.0	1	本	
㊨	クスノキ	4.0	2.35	8.0	1	本	

\* 上表の他、本工事に支障となる公園樹木の枝葉は、監督職員の承諾を得て伐採するものとする。

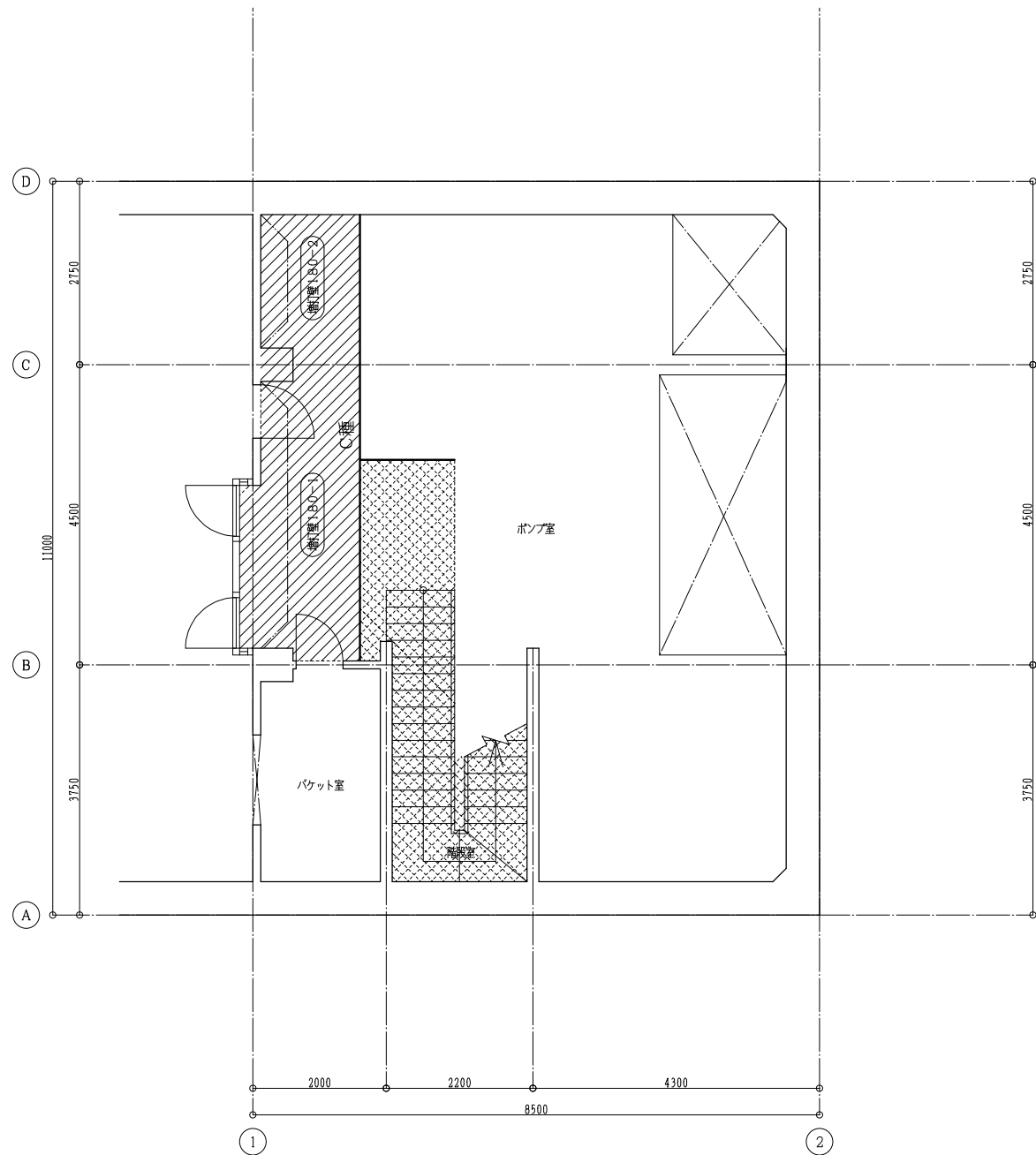
(A) - (A) 断面図



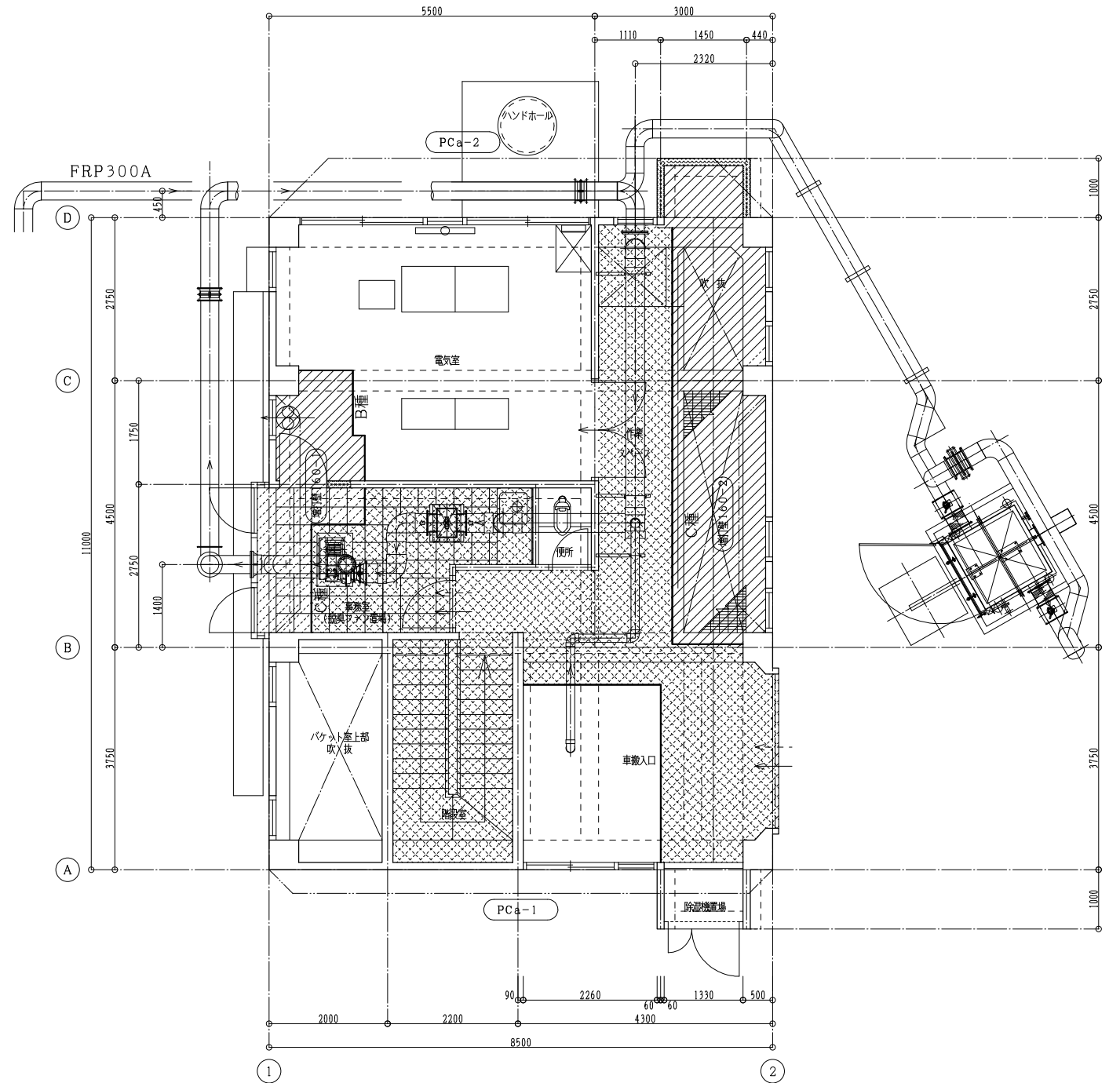
仮設計画図 S=1/100

- ▨ 耐震改修建築物(ポンプ棟)
- ※ 外構撤去+復旧(新設)範囲  
新設外構: UNフェンスA型50H=200<朝日スチール工業>同等品  
(基礎: 250×250×450H)
- 重機軌跡
- クレーン参考軌跡
- トラック参考軌跡

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	外構・仮設計画図(1)(参考)		
縮尺	A1: 1/100 A3: 1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図書番号	D-20



改修前B1階平面図 S=1/100



改修前1階平面図 S=1/100

増打壁160-1 — は増打ち壁施工場所及び部分詳細図番号を示す。

PCa-1 — はプレキャストプレストレストコンクリートブレース施工場所及び部分詳細図番号を示す。

■ — 部分は躯体・仕上撤去範囲を示す。

凡 例	
— A種	A種間仕切壁：遮音考慮する
— B種	B種間仕切壁：遮音考慮せず
— C種	C種間仕切壁：全面シート張り
×	通行止め
—	養生範囲（個別）
—	養生範囲（複合）
—	床面搬入路養生
—	搬入経路の床面養生は、当該箇所工事完了時速やかに撤去すること
—	通行止め範囲
—	職員管理動線
—	工事作業動線
—	職員管理動線
—	工事用進入口

注記)  
 ・内部改修では、施工作业範囲外に塵埃等が飛散しないように、適切に養生を行う。  
 ・電気室・事務室（脱臭ファン置場）における、什器・設備機器についてはポリエチレンフィルム等で養生を行う。

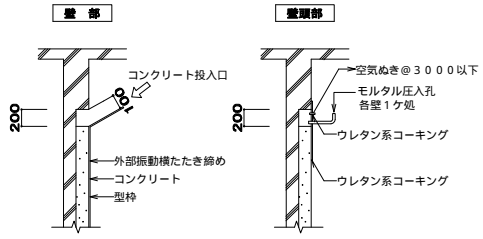
事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	仮設計画図(2) (参考)		
縮尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者	図面番号	D-21
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	D-21

四日市中央ポンプ場

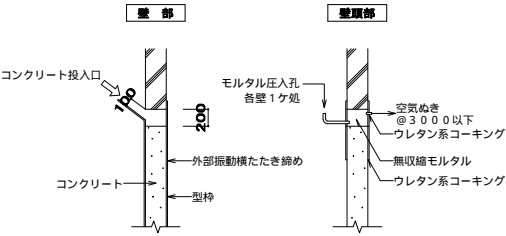
一般仕様

- 補強位置
  - 別紙、補強位置図参照
- 使用材料
  - 鉄骨 JIS規格品 SN400B
  - 鉄筋 JIS規格品 SD295A (D16以下)
  - アンカー筋 JIS規格品 SD345 (D19以上)
  - アンカー筋 JIS規格品 SD295A (D16以下)
  - アンカー筋 JIS規格品 SD345 (D19以上)
  - 接着系アンカー筋 メーカーにより材料強度が保証されたもの。  
付着強度  $\tau_a = f_0$  ( $\sigma_B/21$ ) 以上  
 $\sigma_B$ : 既存部のコンクリートの圧縮強度 (N/mm<sup>2</sup>)
  - 接着系アンカー筋非破壊試験要領
    - 非破壊試験は、引張試験を行う。
    - 試験方法は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (平成25年版) による。
  - 接合筋 JIS規格品 SD295A (D16以下)
  - JIS規格品 SD345 (D19以上)
- 鉄骨製作工場: Mグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。
- 塗 装: JIS K 5625 シアナミド船さび止めペイント2種 (コンクリート、モルタル、コーキング等に接する部分に塗しないこと。)
- 使用コンクリート設計基準強度
  - 28 F<sub>c</sub> = 21 N/mm<sup>2</sup> (普通コンクリート、粗骨材最大径 20mm程度以下) スランプ 18cm以下
- モルタル設計基準強度 (無収縮)
  - 28 F<sub>c</sub> = 30 N/mm<sup>2</sup>
- 注意事項
  - 構造面の寸法は躯体寸法を示す
  - 材料の加工に先立ち躯体寸法を測定し、実状に合った寸法に加工する
  - 増設部材と既存部材との接合部は、既設仕上げモルタルは全て撤去し、全面はつり荒しとし、コンクリート打設前に十分な水洗しを行う
  - コンクリートの打設にはバイブレータを使用し、また、タタキにより密実なコンクリートとするように十分な施工計画をたてること
  - コンクリートの強度発現期間内は十分な湿度状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないに注意する
  - 設計図に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (平成25年版)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (平成25年版) による。
  - 既設部との取合いは、現場調査の上で設計図書及び施工図を作成し、工事管理者の承認を得ること。
  - 接着系アンカー筋削孔前に鉄筋検査を行うこと。
  - 接着系アンカーの性能確認試験を行うこと。

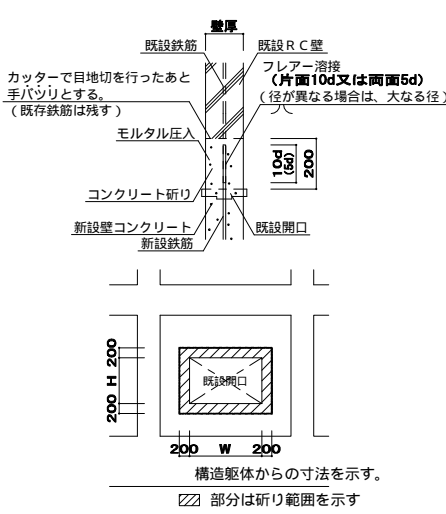
壁部コンクリート打設, モルタル圧入法 (増打ち壁)



壁部コンクリート打設, モルタル圧入法 (増設壁)



コンクリートハツリ部納まり図



あと施工アンカー

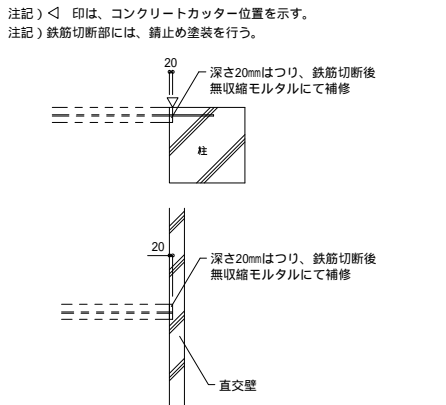
<p>(ナット付) 既存躯体 増設補強壁</p>	<p>アンカー-鋼筋共通事項</p> <p>接着系アンカーの有効 埋め込み長さ</p> <p>一般部 : <math>L_e = 7d_a</math> , (<math>L = 8d_a</math>) 開口補強筋 : <math>L_e = 10d_a</math> , (<math>L = 11d_a</math>)</p>
	<p>接着系アンカーの有効 定着長さ</p> <p>一般部 : <math>L_n = 20d_a</math> (ナット付き) 開口補強筋 : <math>L_n = 30d_a</math> (ナットなし) 開口補強筋 : <math>L_n = L_1 + 5d_a</math> (=補強筋との継手長さ+クリアランス)</p>
<p>(ナットなし) 既存躯体 増設補強壁</p>	<p>アンカー筋形状</p> <p>ナット付き異形棒鋼 (開口補強筋用はナットなし) とし、ナットからねじ山が2山以上でること。 また、先端形状は45°カットとする。</p>

L : コンクリートの穿孔径さ、または接着系アンカーの埋め込み長さ  
L<sub>e</sub> : アンカーの有効埋め込み長さ  
L<sub>d</sub> : アンカー筋の全長  
L<sub>n</sub> : 有効定着長さ  
d<sub>a</sub> : 既存コンクリート躯体への穿孔径  
d<sub>a</sub> : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

鉄筋フレア溶接要領

- 特記なき鉄筋のフレア溶接は、下図の片面または両面とする。
- 鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビードの始点(L<sub>a</sub>)及び、クレーター(L<sub>b</sub>)を除いた部分の長さとする。  
但し、L<sub>a</sub> 及び L<sub>b</sub>は 2d以上とする。

撤去壁 - 柱 (直交壁) 取合部 (撤去の場合)



アンカー筋ピッチ標準

壁符号	既設壁厚	新設壁厚	新設壁筋	アンカー筋 (接合筋) P	へりあき H ゲージ g	備考
EW16		160	タテ D10@150 (S)	タテ D13@150 (S)		
			ヨコ D10@150 (S)	ヨコ D13@150 (S)		
EW18		180	タテ D10@150 (S)	タテ D16@150 (S)		
			ヨコ D10@150 (S)	ヨコ D16@150 (S)		
EW30	120	180	タテ D10@200 (S)	タテ D16@150 (S)		
			ヨコ D10@200 (S)	ヨコ D16@150 (S)		

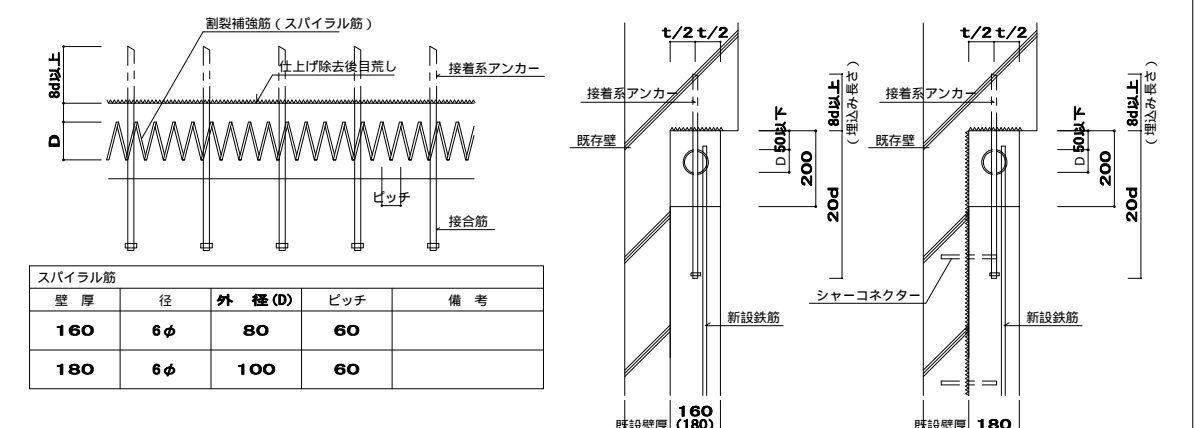
da : アンカー筋の呼び径

(シングル)  $P = \begin{cases} L/2 \\ t/2 \end{cases}$   $\begin{cases} \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \\ \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \end{cases}$   $\begin{cases} P \\ H \end{cases}$   $\begin{cases} \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \\ \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \end{cases}$

(ダブル)  $P = \begin{cases} L/2 \\ t/2 \end{cases}$   $\begin{cases} \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \\ \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \end{cases}$   $\begin{cases} P \\ H \end{cases}$   $\begin{cases} \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \\ \bullet \bullet \bullet \bullet \bullet \end{cases}$

- P : ピッチ  $\geq 7.5d_a$   
- H : へりあき  $\geq 2.5d_a$   
- g : ゲージ  $\geq 5.5d_a$

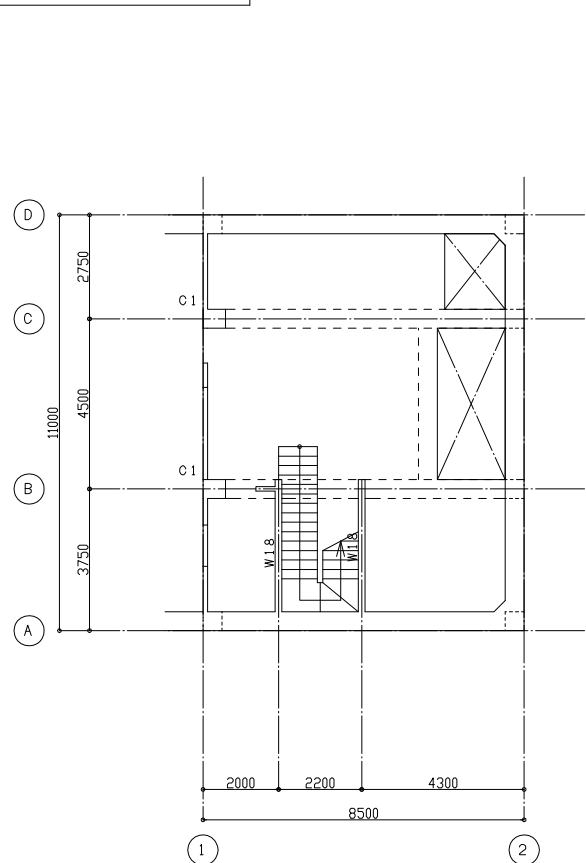
割裂補強筋納まり図



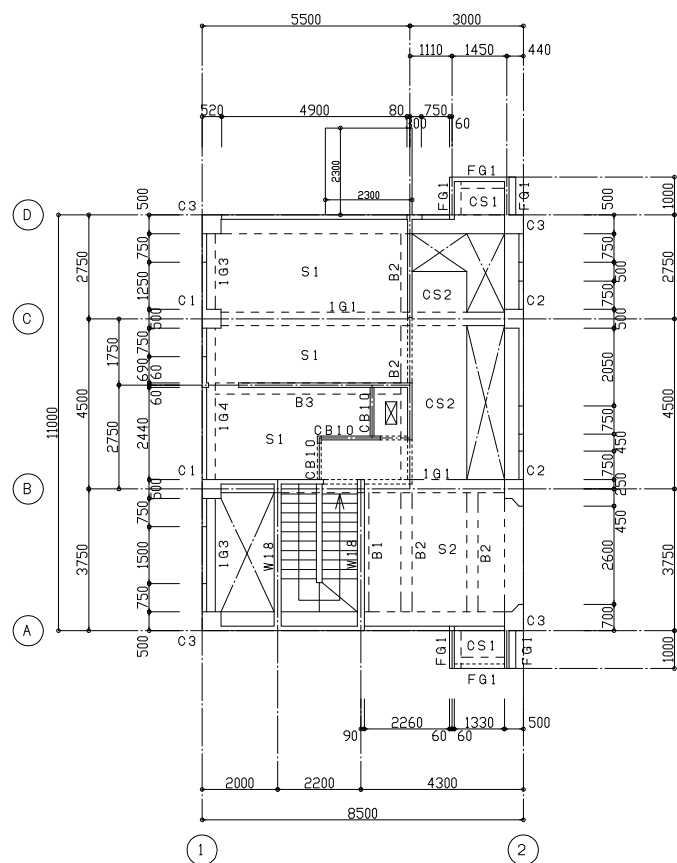
事業名	平成29年度公共下水道事業
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市日永東一丁目地内
名称	耐震改修標準図
縮尺	設計年月日 平成 年 月 日
工種	設計者
事業主体	四日市市 上下水道局 図書番号 S-1



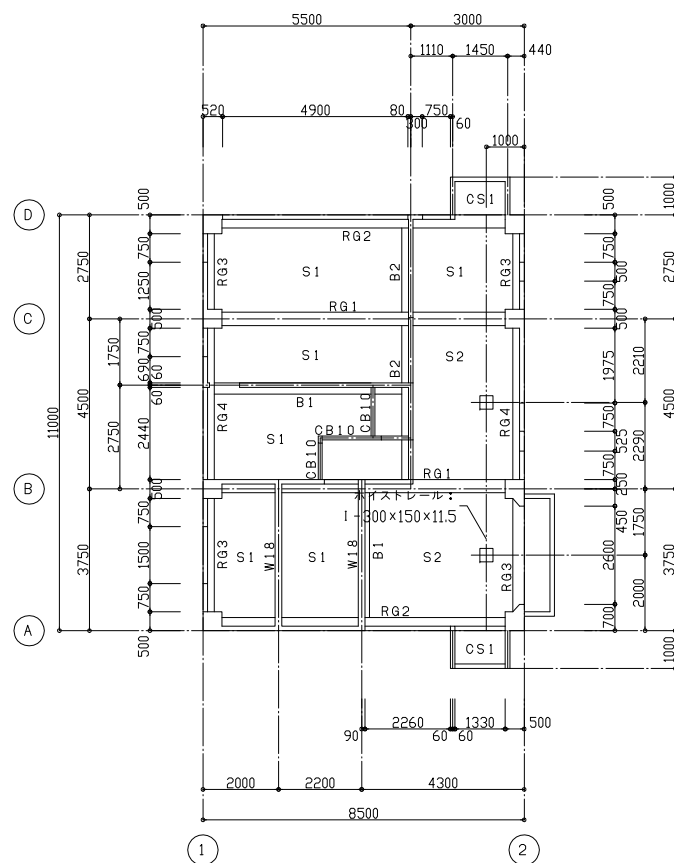
改修前



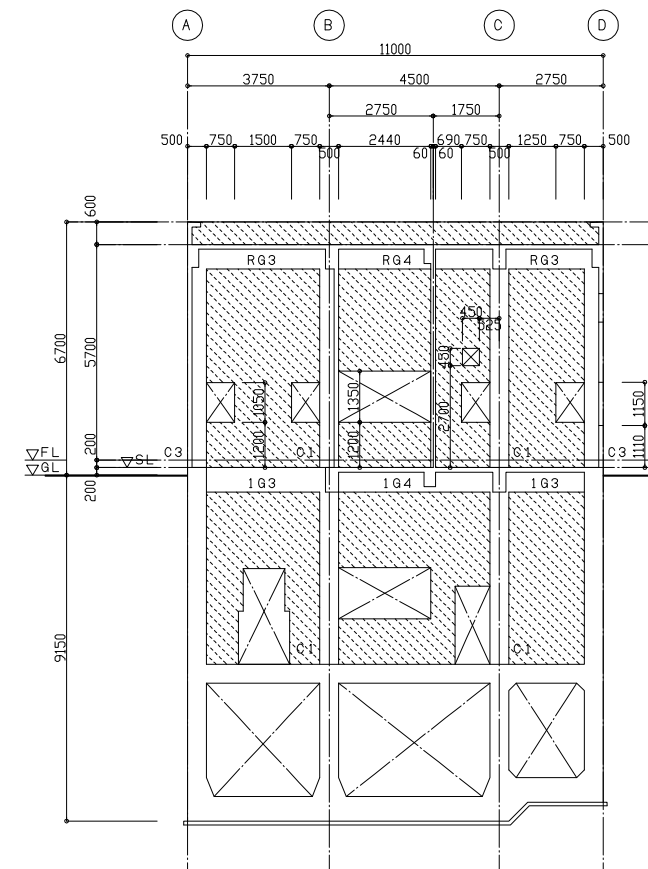
B1階梁伏図（見下げ図） S=1/100  
\* 特記なき壁はW12とする



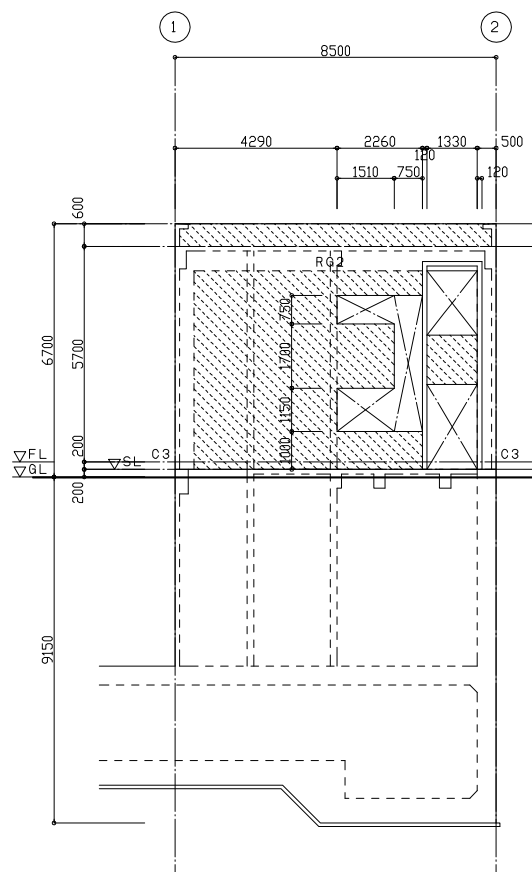
1階梁伏図（見下げ図） S=1/100  
\* 特記なき壁はW12とする



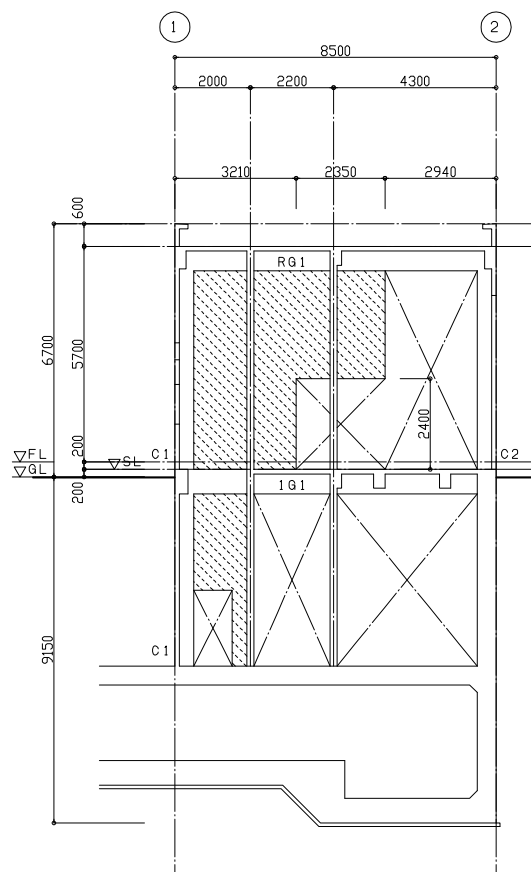
R階梁伏図（見上げ図） S=1/100  
\* 特記なき壁はW12とする



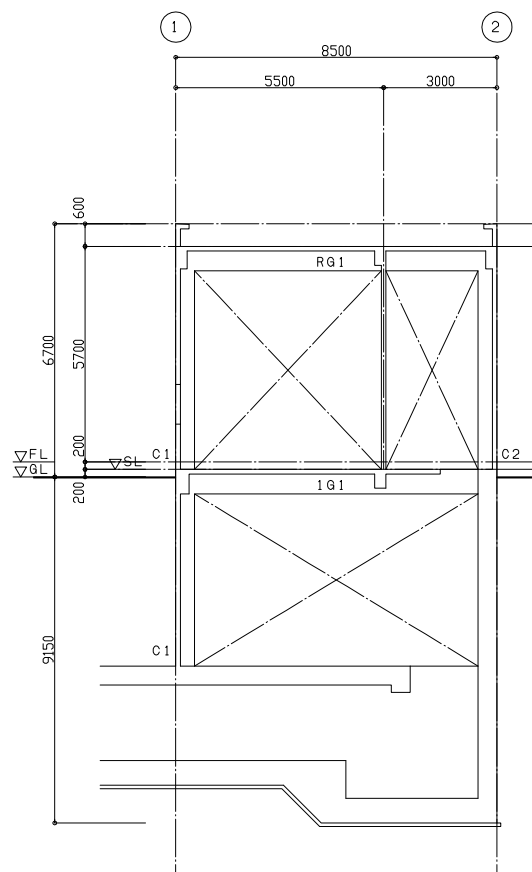
1通 軸組図 S=1/100  
— W12



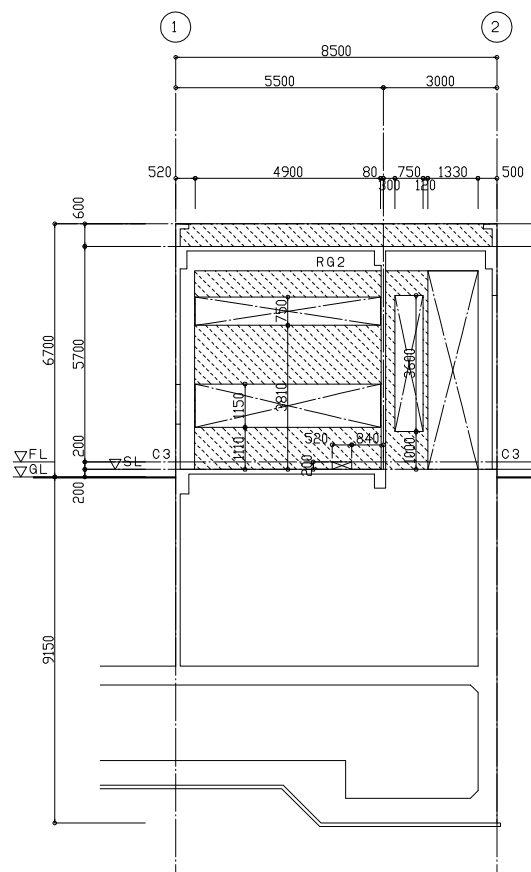
A通 軸組図 S=1/100  
— W12



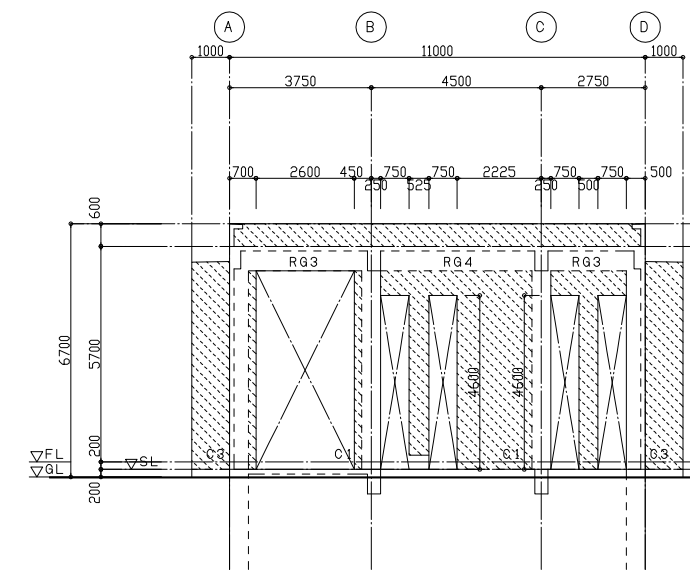
B通 軸組図 S=1/100  
— W12



C通 軸組図 S=1/100



D通 軸組図 S=1/100  
— W12



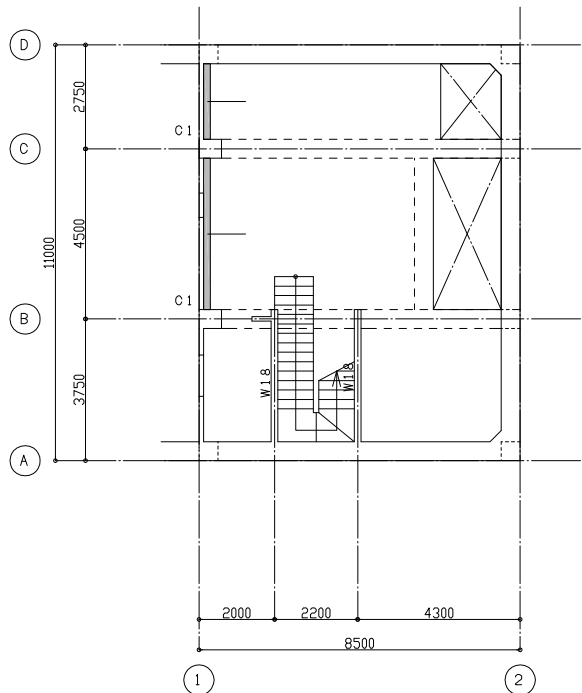
2通 軸組図 S=1/100  
— W12

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	改修前 伏図・軸組図		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種	四日市市 上下水道局	設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図書番号	S-2

改修後

改修要領

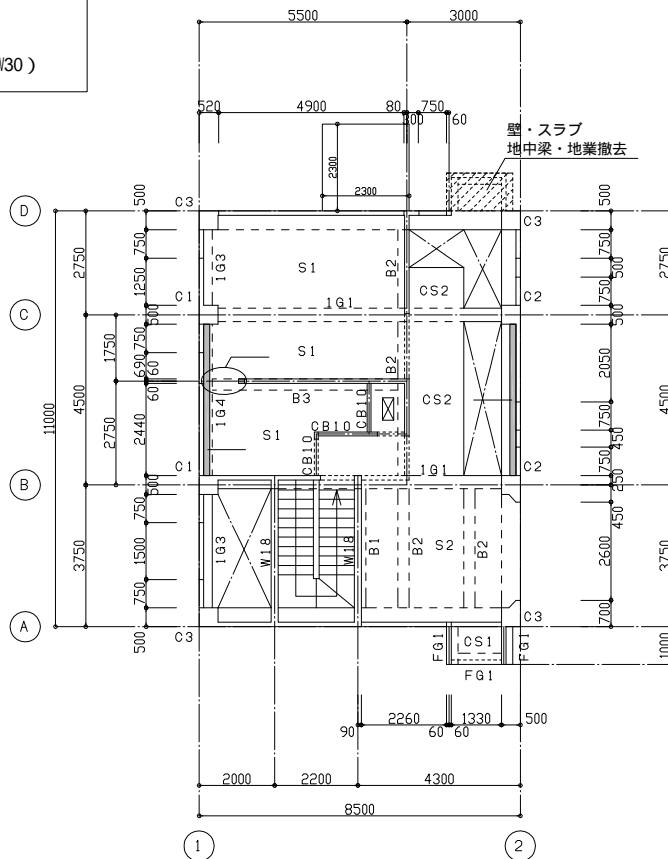
- : 増設壁 t=160 (既設壁は残す。)
- : 既設扉撤去後、扉新設
- : 増設壁 t=180 (既設壁は残す。)
- : 増し打ち壁 t=180 (既設壁W12+W18=EW30)



B1階梁伏図(見下げ図) S=1/100

\* 特記なき壁はW12とする

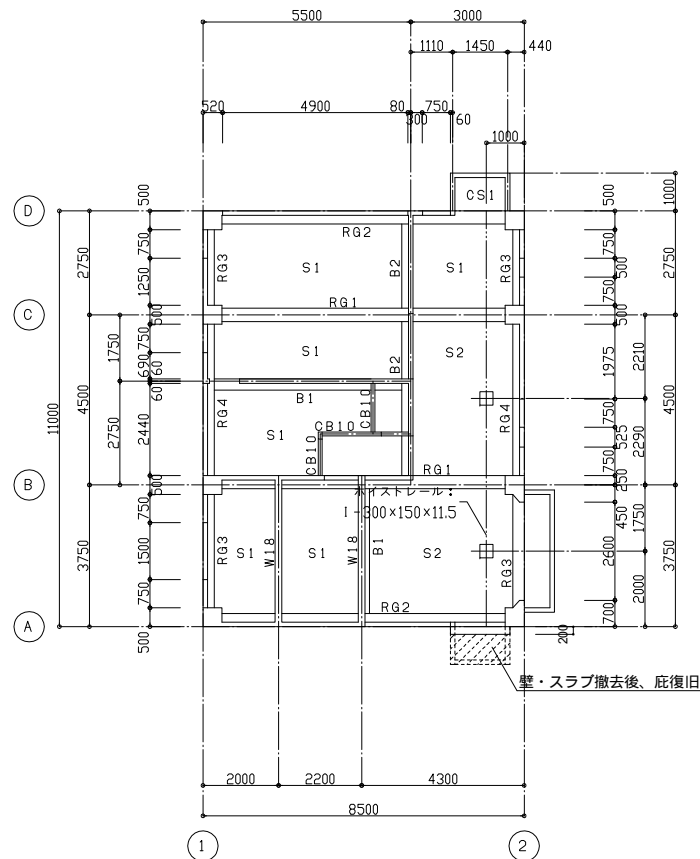
- は、改修位置を示す。
- ・ 内数値は、補強(改修)Noを示す。



1階梁伏図(見下げ図) S=1/100

\* 特記なき壁はW12とする

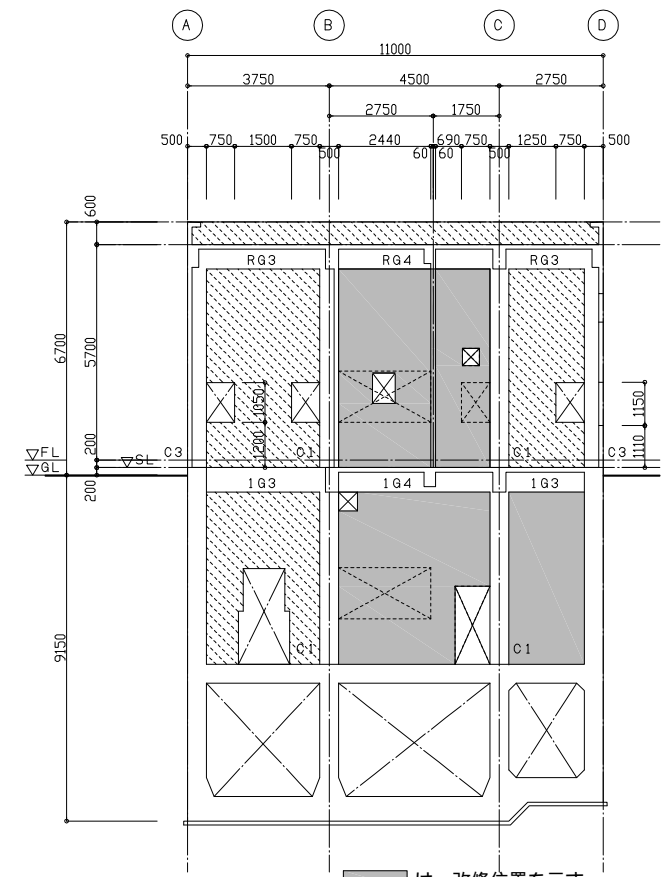
- は、改修位置を示す。
- ・ 内数値は、補強(改修)Noを示す。



R階梁伏図(見上げ図) S=1/100

\* 特記なき壁はW12とする

- は、改修位置を示す。
- ・ 内数値は、補強(改修)Noを示す。

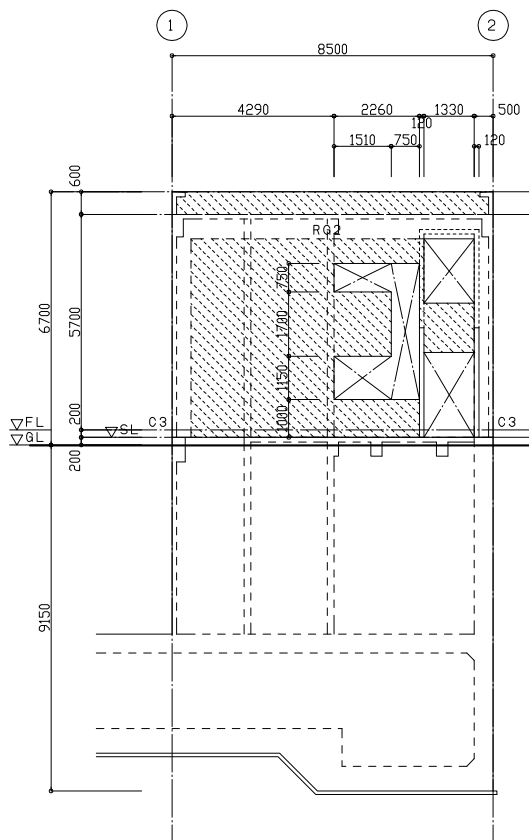


■ は、改修位置を示す。

- ・ 内数値は、補強(改修)Noを示す。

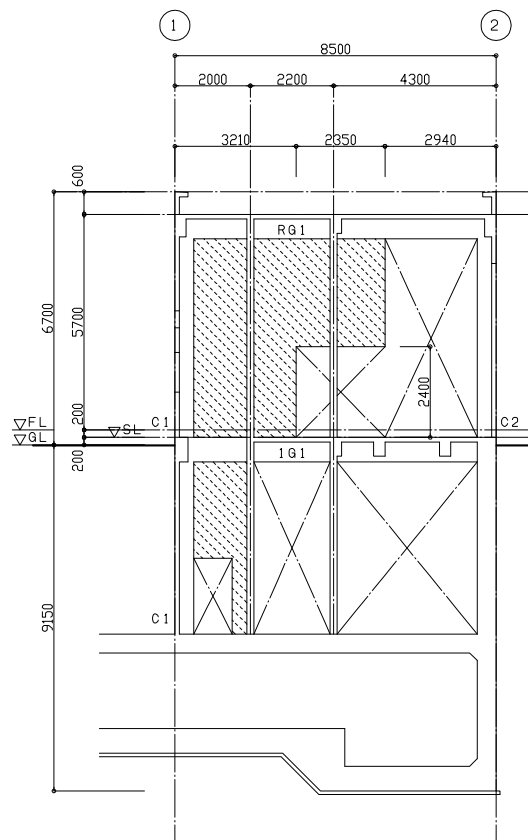
1通 軸組図 S=1/100

■ W12



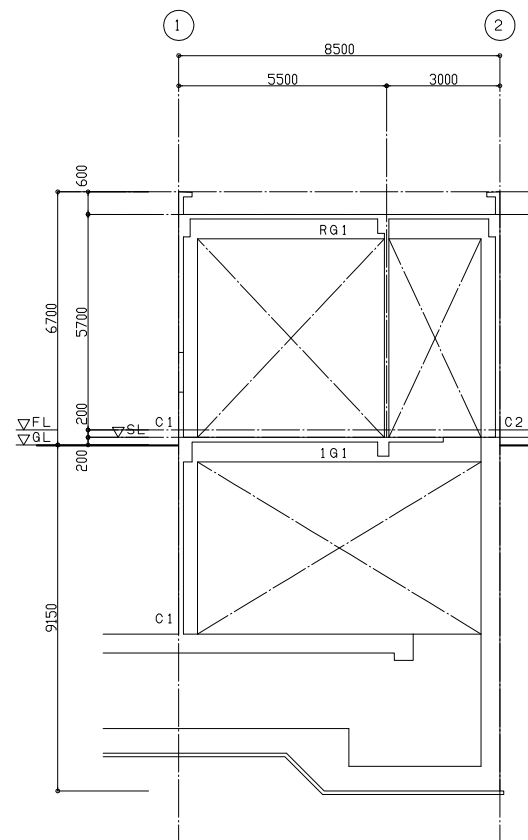
A通 軸組図 S=1/100

■ W12

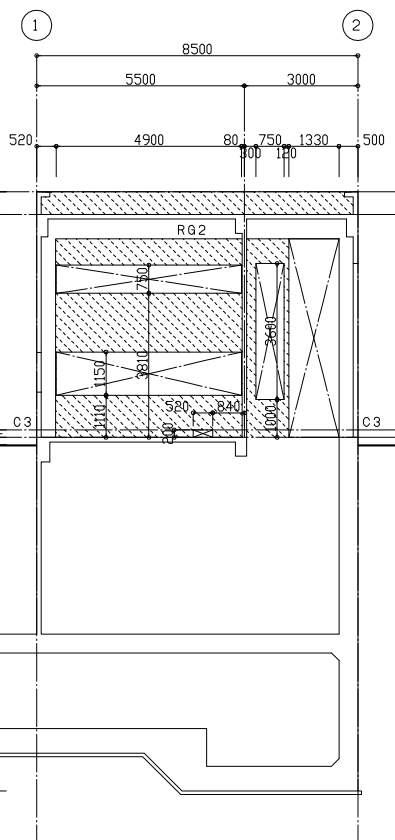


B通 軸組図 S=1/100

■ W12

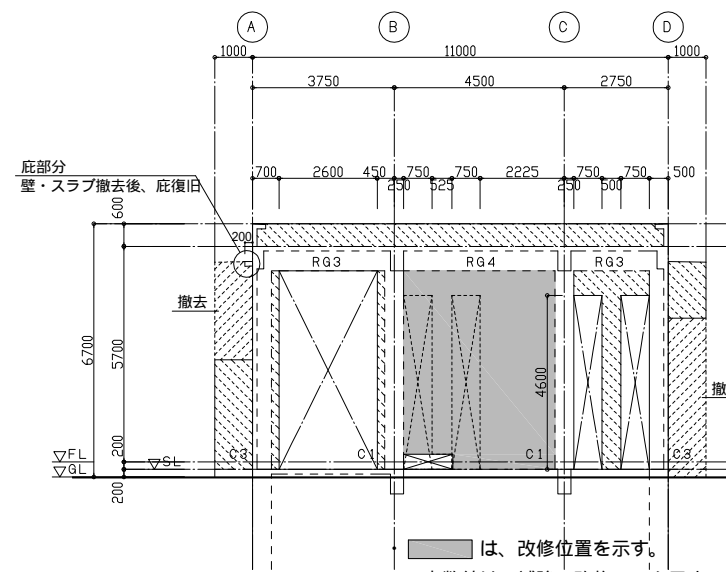


C通 軸組図 S=1/100



D通 軸組図 S=1/100

■ W12



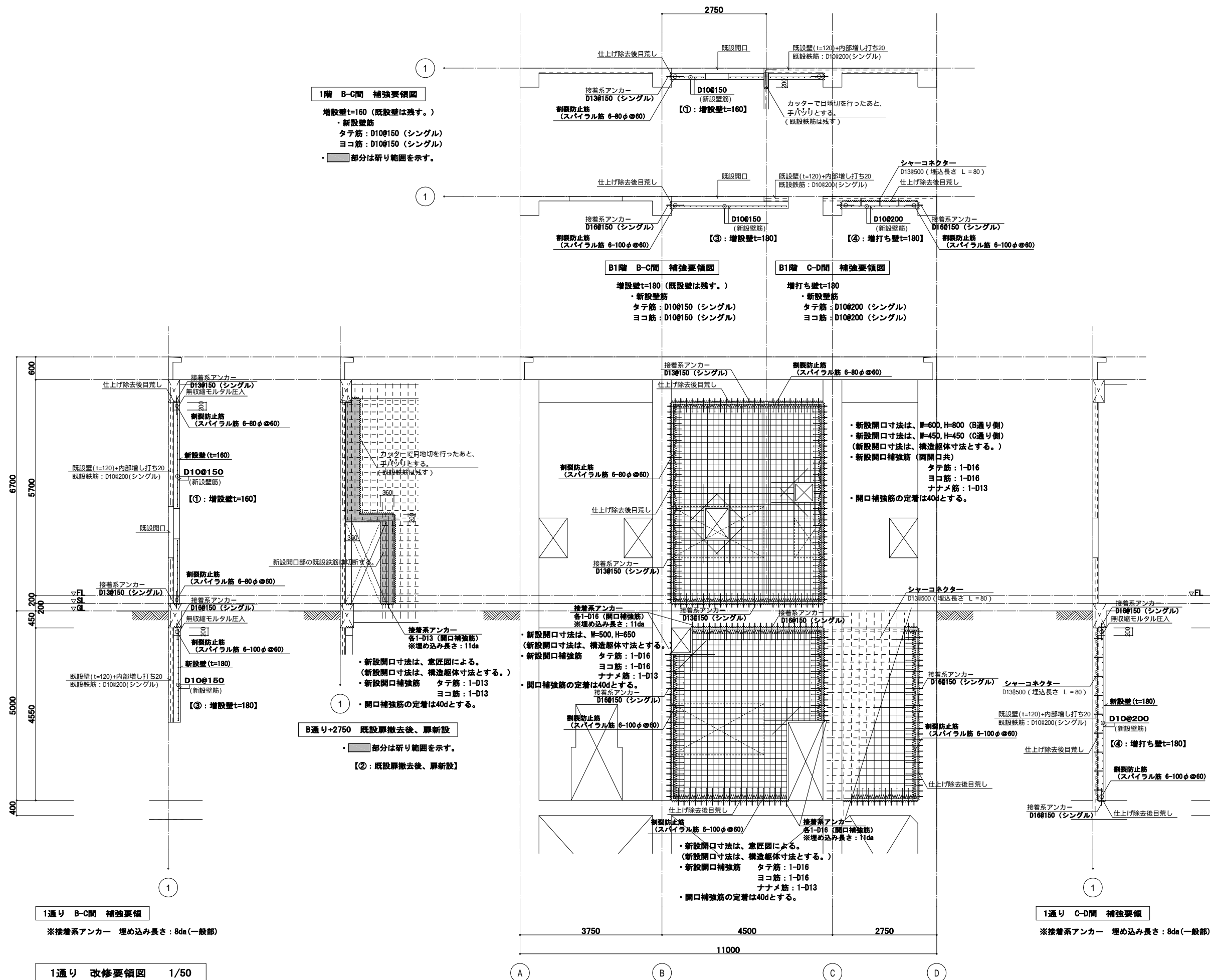
■ は、改修位置を示す。

- ・ 内数値は、補強(改修)Noを示す。

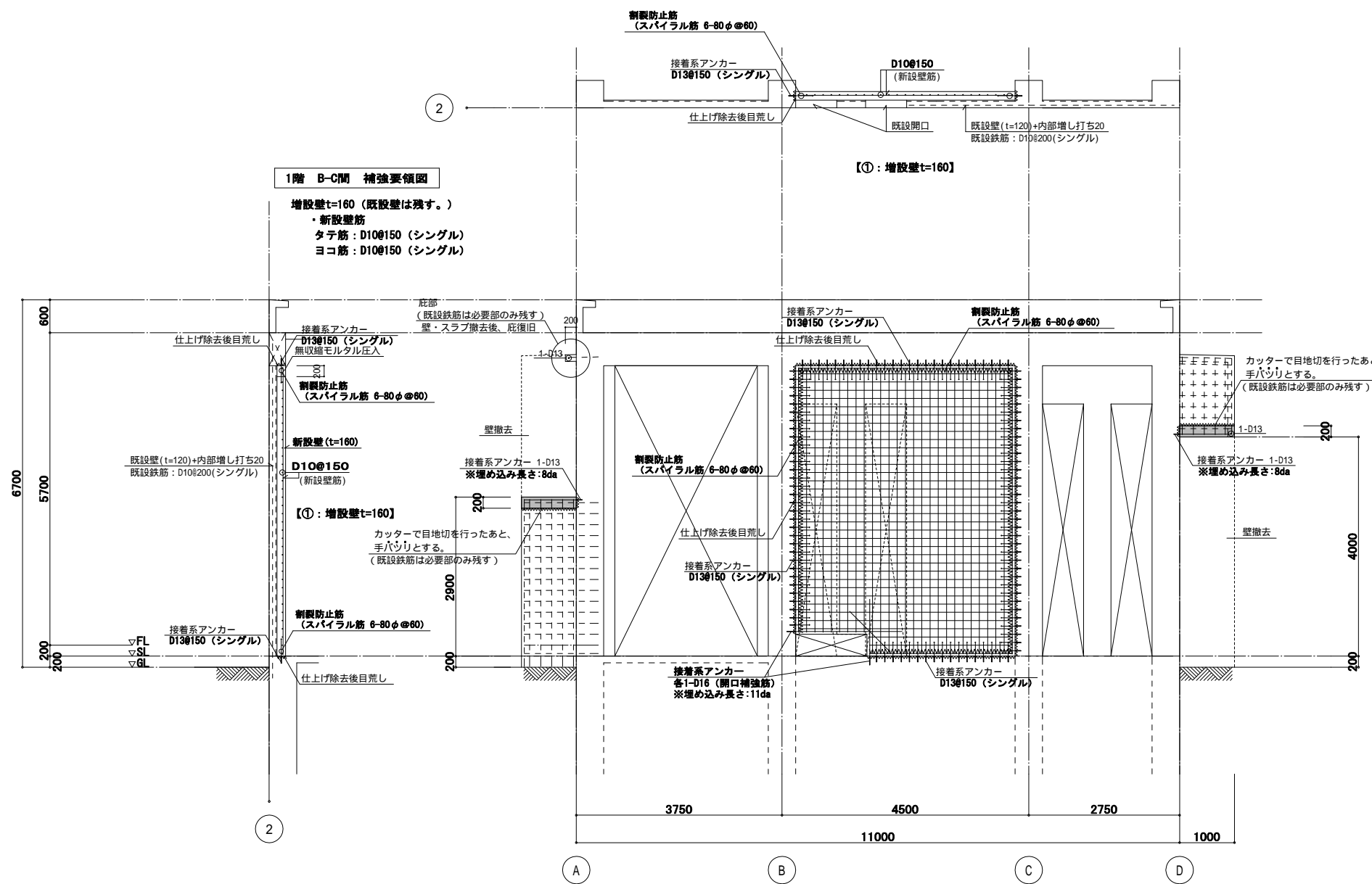
2通 軸組図 S=1/100

■ W12

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	改修位置図(伏図・軸組図)		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	設計年月日	平成 年 月 日
工種	四日市市 上下水道局	設計者	
事業主体		図番	S-3



事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	1通り 改修要領図		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	四日市市 上下水道局	設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図番	S-4



**1階 B-C間 補強要領図**

増設壁t=160 (既設壁は残す。)

- ・新設壁筋
- タテ筋: D10@150 (シングル)
- ヨコ筋: D10@150 (シングル)

**2通り 改修要領図 1/50**

※接着系アンカー 埋め込み長さ: 8da (一般部)

※既設壁は残す。

■部分は研り範囲を示す。

**1階 B-C間 改修要領**

- ・新設開口寸法は、 $W=1300, H=400$  (新設開口寸法は、構造躯体寸法とする。)
- ・新設開口補強筋 タテ筋: 1-D16
- ヨコ筋: 1-D16
- ナナメ筋: 1-D13
- ・開口補強筋の定着は40dとする。

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	2通り 改修要領図		
縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	四日市市 上下水道局	設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図番	S-5

# プレキャストプレストレストコンクリートブレース工事 特記仕様書

## PCaブレースの製作

1. 一般事項  
 1) 適用の範囲  
 本仕様は、プレキャスト部材、PC鋼材の緊張工事に関する部分について適用する。本仕様書、並びに設計図書に指示されていない事項は、建築基準法、日本建築学会建築工事標準仕様書鉄筋コンクリート工事（JASS5）、および同学会プレストレストコンクリート設計施工規準、日本建築防災協会「耐震改修設計指針同解説」、オリエンタル白石㈱「摩擦制御型PCaPC造耐震ブレース（PCブレース）による耐震補強工法術評価資料」による。  
 また、これらに指示されていない事項は、監理者の指示による。

2) PC施工方式  
 プレキャストプレストレストコンクリートブレース（以下PCブレース）は、工場製作ポストテンション方式とする。又、取り付け工事の内PC緊張工事は、現場施工ポストテンション方式とする。

3) 施工業者  
 PCブレースの部材製作・現場取り付け工事は、オリエンタル白石㈱若しくはオリエンタル白石㈱より技術指導を受けた専門者が行うものとし、下記のいずれか一社による責任施工とする。

オリエンタル白石㈱  
 ㈱ 建 研  
 ㈱ピーエス三菱

2. 材料  
 1) セメント  
 JIS R 5210によるポルトランドセメントを使用する事を原則とする。

2) 混和剤  
 コンクリート中に混和剤を用いる場合は、その品質・使用量等について監理者の承認を得ることを原則とする。

3) 鉄筋  
 異形鉄筋（D6～D19）はJIS G 3112(SD295A)の規格に適合するものを使用することを原則とする。

4) PC鋼材  
 PC鋼材は有害な傷のないもので、次に適合するものを使用する。

JIS G 3109

部材符号	使用箇所	使用鋼材		降伏荷重	施工緊張力	単位
1Br800 (350x350)	頂部	2c-SBPR1080/1230	23	448.7	-	kN/c
	可動接合部	2c-SBPR1080/1230	26	573.4	362.0	
	斜部	1c-SBPR1080/1230	32	868.5	692.0	
	固定接合部	2c-SBPR1080/1230	32	868.5	692.0	

上記PC鋼材は、全て「アンボンド加工品」とする。

・その他 上下ブロック部に使用する補強筋は JIS G 3137「細径異形鋼棒」（SBPD1275/1420）の規格に相当するものとする。

5) 接合部摩擦材  
 6) コンクリート及び目地モルタル

3) 型枠工事

4) 鉄筋工事

5) PC鋼材の配置

6) コンクリート

7) 検査

可動接合部に用いる摩擦材は、材料特性が明瞭で高強度・高耐久性の材料とする。特に指定がない場合は、南アフリカ産：インバラブラックを使用する。

コンクリート及びモルタルの品質は下表を標準する。

使用場所	設計基準強度	導入時圧縮強度	単位
PCブレース	60.0	(A) 35.0	N/mm <sup>2</sup>
		(B) 40.0	
目地モルタル	50.0	(B) 20.0	
PC保護コンクリート	18.0	-	

(A)：工場緊張時（ブレース部）  
 (B)：現場緊張時（可動接合部・固定接合部、その他）

プレキャスト部材の型枠は、木製及び鋼製型枠とする。尚、振動打ちを行うので、これに耐えるように十分に留意すること。

鉄筋は正確な配置をして、コンクリート打設時に崩れないよう強固に組み立てること。

PC鋼材の配置は正確強固に行い、コンクリート打設時に移動しないこと。また、シース配置の許容誤差はJASS5による。

コンクリート打設にあたっては、次のことに注意すること。  
 PC鋼材、鉄筋、型枠が移動、損傷しないように注意して作業にあたる事。  
 PC鋼材にはバイブレーターが直接触れないように細心の注意を払うこと。

- a) 材令28日の圧縮強度が試験の結果、所定の強度に達していない部材については不合格とする。
- b) プレキャスト部材の検査は、型枠寸法及び外観について行い、検査の結果、製品の不良箇所が修正可能と認められたときは必要な補修を行い、再検査を受けることができる。  
 また、修正不可能なときは取り替えを命ずることができる。
- c) 部材寸法の許容誤差は、長さ±10mm、断面寸法+5mm、-3mmとする。

## PCaブレースの取付

1. 施工計画  
 工事着手前に運搬・ストック等の順序、方法とコア抜き・部材取付モルタル充填・緊張作業に用いる架設足場などの方法と工程等について現地調査の上、施工計画書を作成し、監理者の承認を得ること。

2. 運搬・搬入  
 プレキャスト部材の運搬は、部材に有害な荷重が作用しないよう注意し、安全に行うこと。

3. 架設・取付  
 1) 取付準備
- a) ブレースと圧着接合する既存梁・柱表面は、仕上げ部分を撤去し目荒らし処理を行うこと。
  - b) ブレースが配置される空間に位置する雨樋・換気口等の障害物は、配置以前に撤去すること。

- 2) 既存梁への削孔
- a) 既存梁への削孔を前に正確な墨出しを行い、製作中の部材との照合を行う。
  - b) 削孔の位置については、事前に現地調査を行い、作成した施工計画書に従い墨出しを行う。
  - c) 削孔は墨に従い正確な位置に、既存梁に直角に削孔しなければならない。

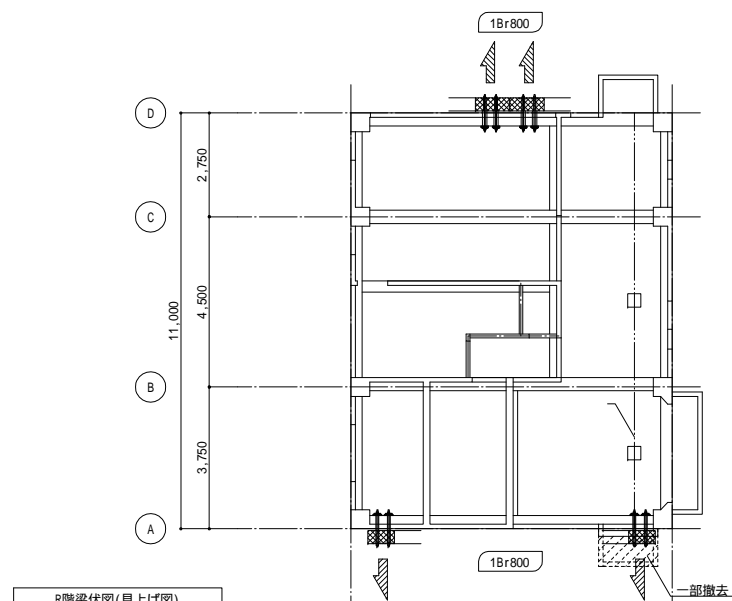
- 3) 取付
- a) 取付位置近くまで搬入された部材は揚重機によって取付位置まで吊り込み架設し、正規の位置に調整し仮受け金物等で移動しないように固定すること。
  - b) 既存梁・目地部・ブレース材に貫通された開口にPC鋼材を挿入し、その両側に定着板とナットを取り付ける。その際、鋼棒のネジ山に損傷がないよう、鋼棒にせん断力が作用しないように作業を行うこと。

4. 目地モルタル
- a) 既存梁とPCブレースとの空間に充填するモルタルは、無収縮モルタルとし、隙間なく充填すること。
  - b) 注入作業は、充填性と漏れの確認をするため位置毎に予め注入量を求め、注入する量との確認をすること。

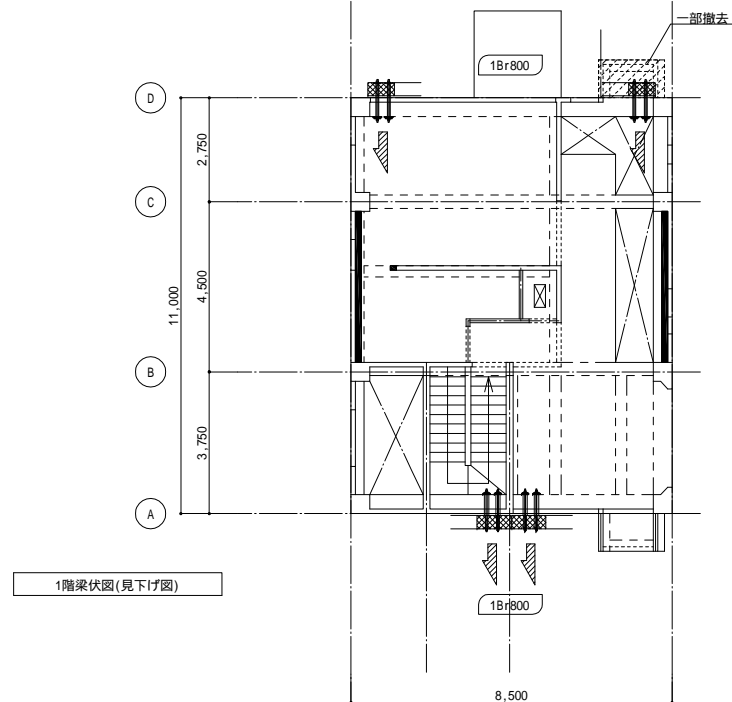
5. 緊張工事
- a) 施工計画書の中でPCブレースの緊張計算を行い、管理方法等については監理者の承認を受けること。
  - b) 緊張機器は、前もってキャリブレーションを行うこと。
  - c) プレストレス導入の時期は、コンクリートの圧縮強度が所定の強度以上に達したことを確認した後とする。
  - d) 緊張力の管理は、ポンプの圧力計の示度（ロードセル等）を測定しながら行い、PCa部材に所定の緊張力が導入されるようにする。

6. PC鋼材の保護  
 PC鋼材の屋外側の定着端は、防錆・耐久性から金属製又はコンクリート製のキャップ等で保護を行い、定着端が地中に埋まる場合などは、保護コンクリート等を打設する。

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	PCaブレース 特記仕様書		
縮尺	—	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	S-6



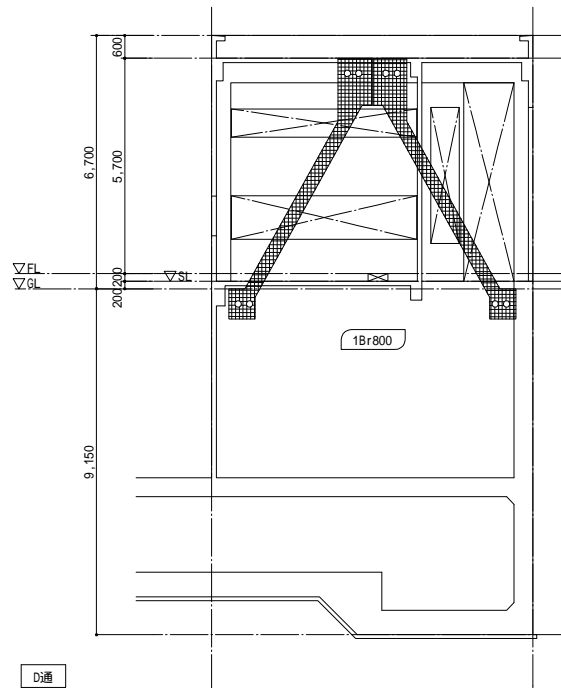
R階梁伏図 (見上げ図)



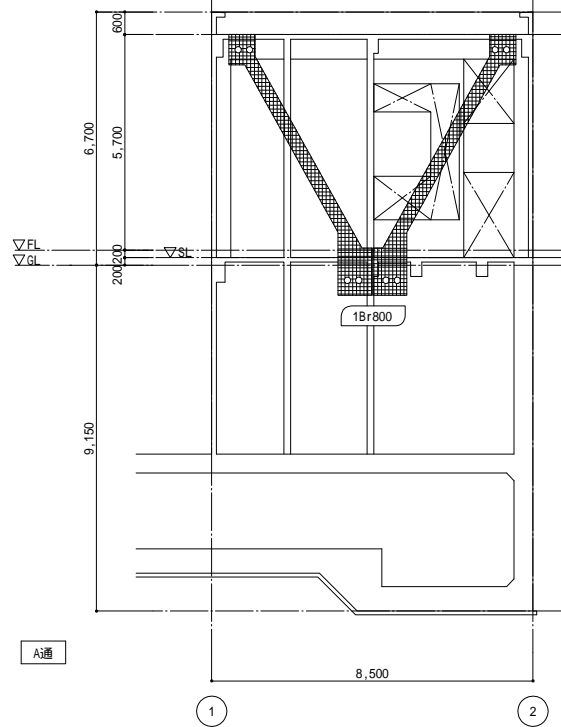
1階梁伏図 (見下げ図)

PCaブレース 平面配置図 S=1/100

は、緊張方向を示す。



D通



A通

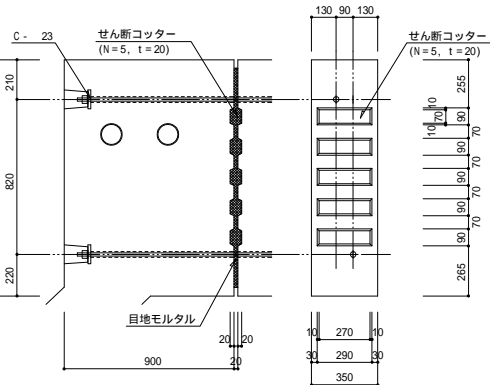
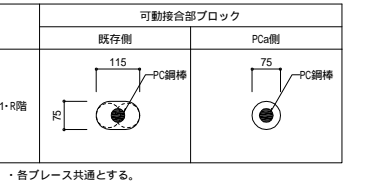
PCaブレース 軸組配置図 S=1/100

PCaブレース 断面リスト S=1/30

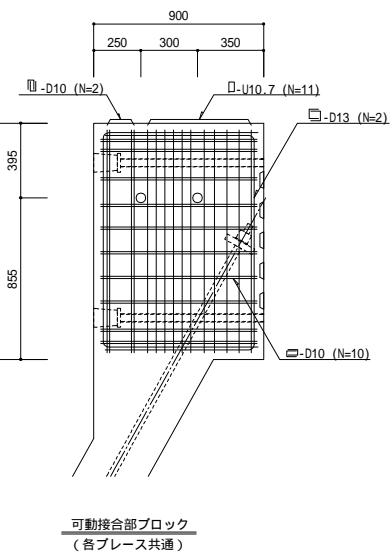
符号	1Br800
断面	
軸筋	8 - D13
帯筋	□ - D10 #100
斜材部PC鋼棒	1c-SBPR1080/1230 32
可動接合部PC鋼棒	2c-SBPR1080/1230 26
固定接合部PC鋼棒	2c-SBPR1080/1230 32

軸筋の上下ブロックへの定着は30d以上とする。

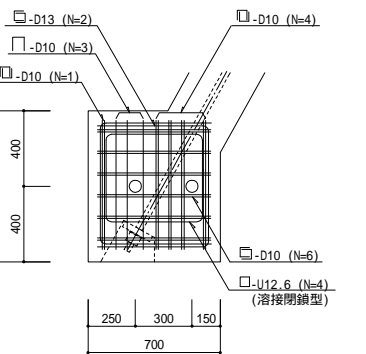
ルーズホール形状図 S=1/10



可動接合部ブロック せん断コッター形状図 S=1/20



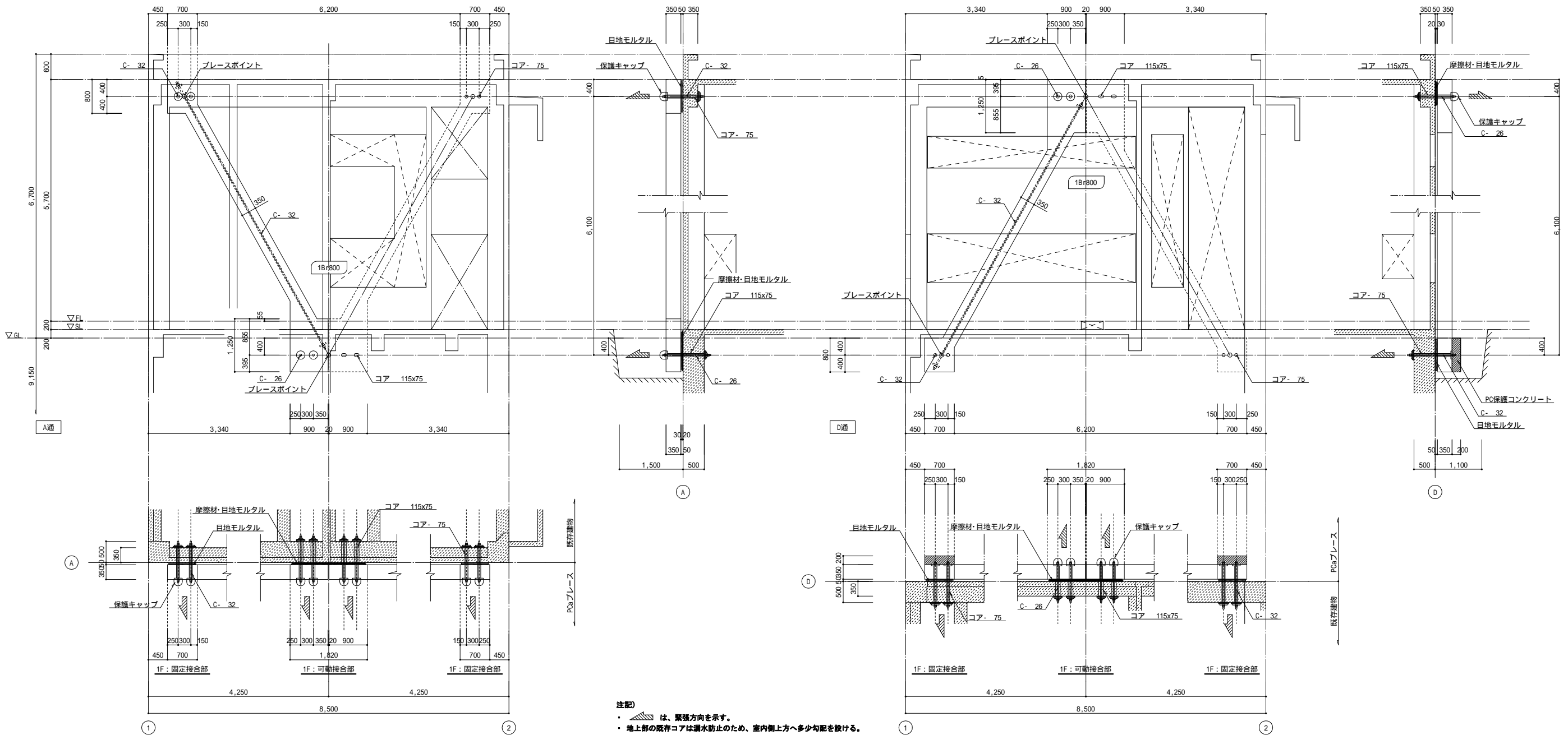
可動接合部ブロック (各ブレース共通)



固定接合部ブロック (各ブレース共通)

PCaブレース 可動接合部・固定接合部ブロック 配筋図 S=1/20

事業名	平成29年度公共下水道事業
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事
工事場所	四日市市日永東一丁目内
名称	PCaブレース配置図・断面リスト
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
設計年月日	平成 年 月 日
設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局
図面番号	S-7



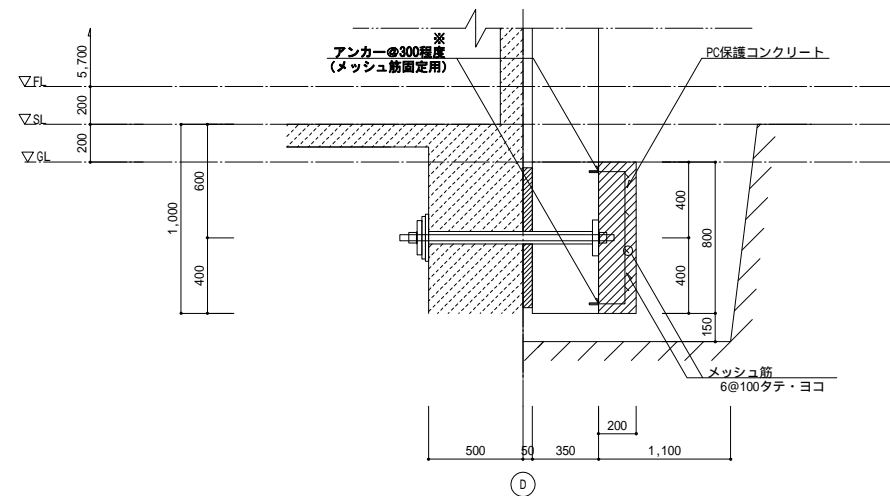
注記)  
 ・ は、緊張方向を示す。  
 ・ 地上部の既存コアは漏水防止のため、室内側上方へ多少勾配を設ける。

PCaブレース 取り付け詳細図 S=1/50

既存側 PC鋼棒支圧板リスト

位置	可動接合部	固定接合部
1Br800	155-34(球座)(3段目)	PL-180x180x25(3段目)
	PL-200x200x16(2段目)	PL-225x225x19(2段目)
	PL-200x200x16(1段目)	PL-250x250x16(1段目)
備考	C- 26(可動接合部)	C- 32(固定接合部)

PC鋼棒・定着金物には防錆処理を行う。



PCaブレース PC保護コンクリート 配筋要領図 S=1/20

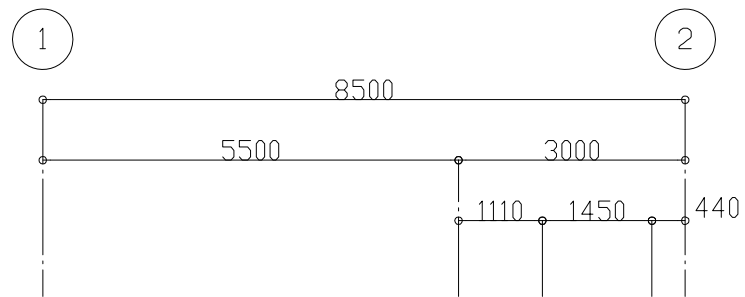
※ 工場取付

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	PCaブレース 取り付け詳細図		
縮尺	A1:1/20, 1/50 A2:1/40, 1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図面番号	S-8

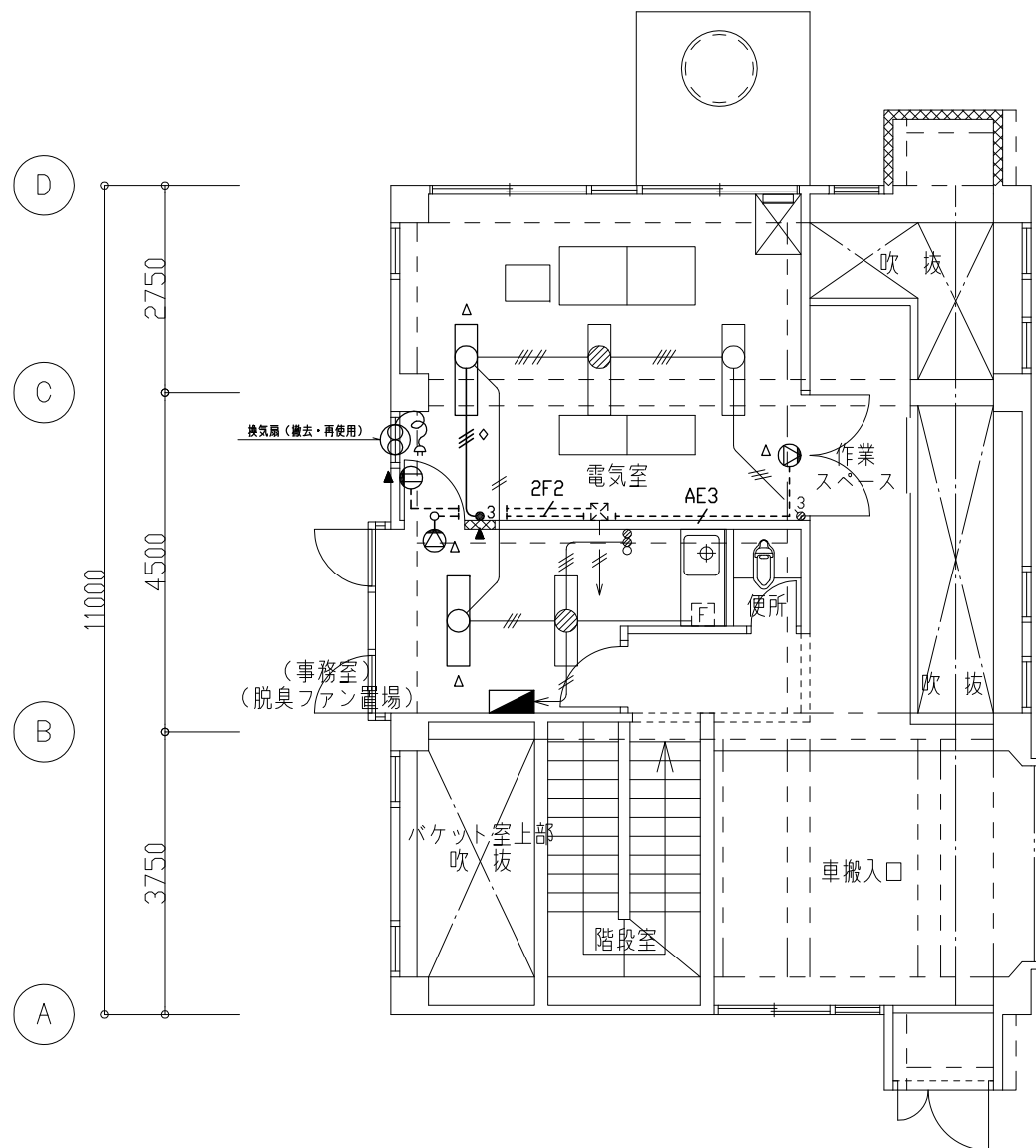




改修前



事務室 FL40W×2 埋込形×2 撤去(再使用)	電気室 FL40W×2 チェーン吊下形×1 撤去(再使用)
------------------------------	----------------------------------



改修前1階平面図 S=1/50

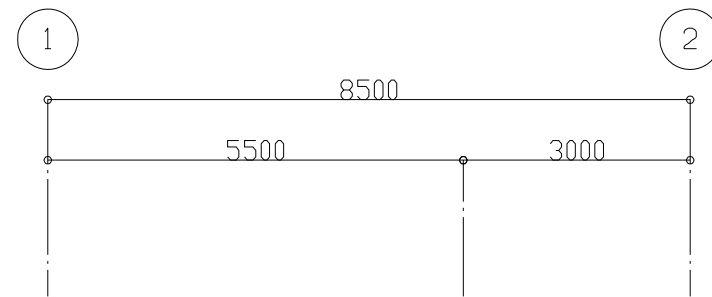
注記

- 太線の部分を本工事とし、細線の部分は既設を再使用する。
- 特記なき配管、配線は下記による。  
 — IⅤ2.0×2 (CP19)  
 — IⅤ2.0×3 (CP19)  
 — 2F2 VV-F2.0-2C (PF22)  
 — AE3 AE-1.2-3C (CP19)  
 ※点線で示す管路は露出配管を示す。
- ◆印で示す配線は配管、配線とも撤去し、◇印は配線のみ撤去する。
- △印で示す照明器具、スピーカーは撤去(再使用)とし、▲印で示す配線器具は撤去(新品に取替)する。

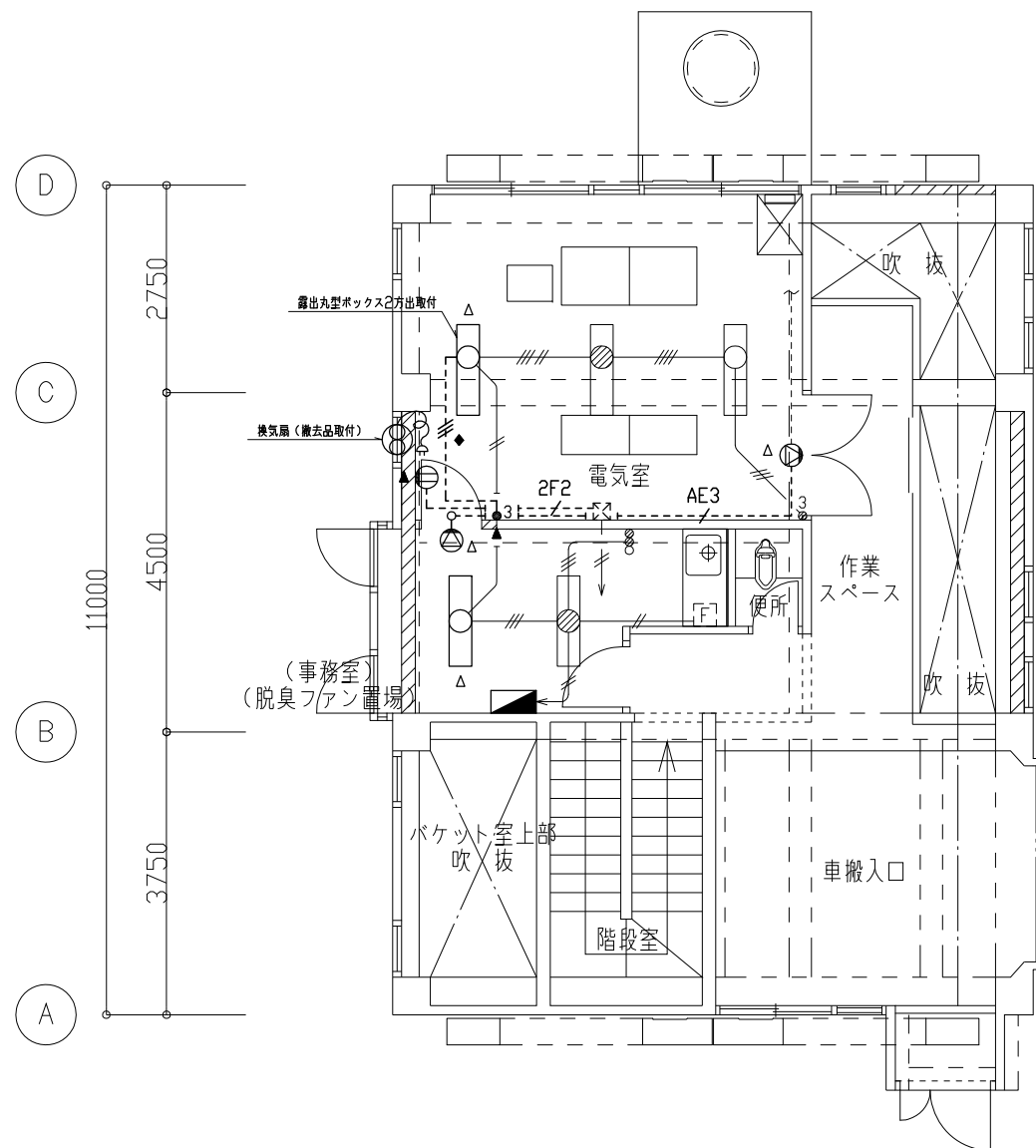
※地下部の撤去についてはD図による。

記号	名称	備考
■	電灯分電盤	露出形
□	照明器具	
●	照明器具	電池内蔵形
●3	埋込スイッチ	3W15A×1
●	埋込スイッチ	1P15A×2 PL×1
⓪	埋込コンセント	2P15A×1
⊗	換気扇	
⊙	壁付スピーカー	3W

改修後



事務室 FL40W×2 埋込形×2 撤去品取付	電気室 FL40W×2 チェーン吊下形×1 撤去品取付
----------------------------	--------------------------------



改修後1階平面図 S=1/50

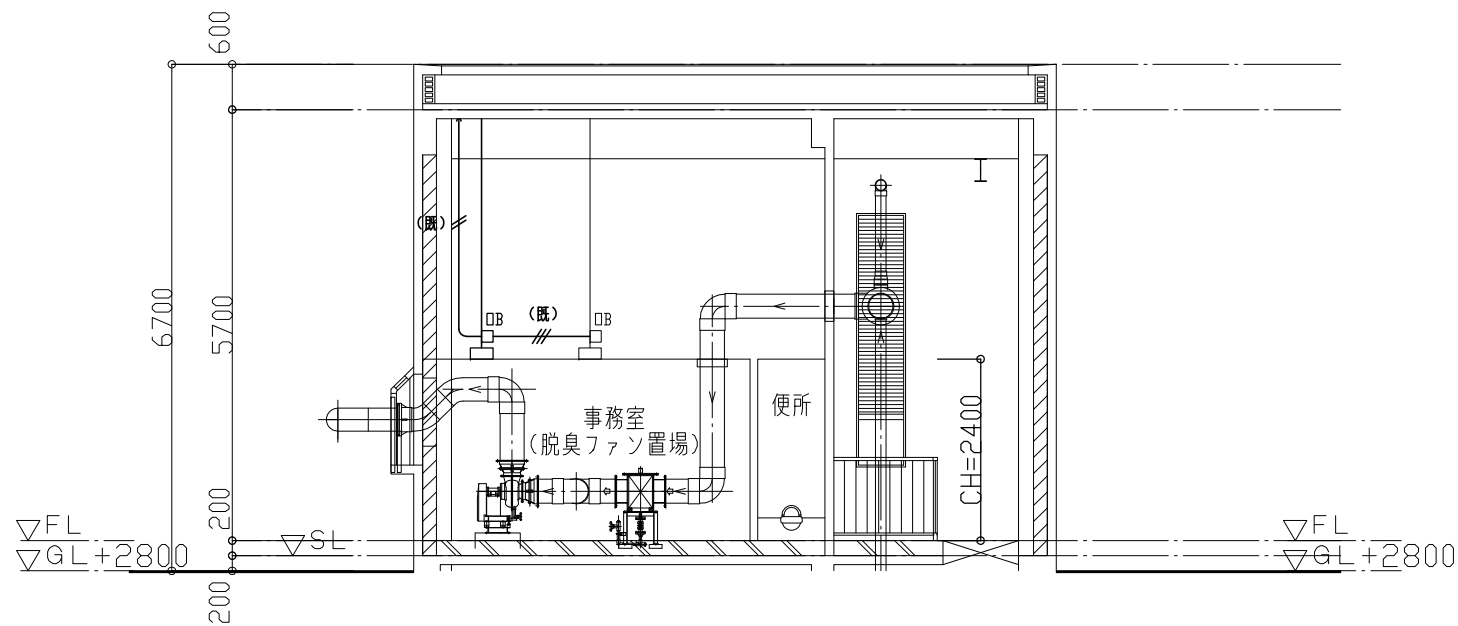
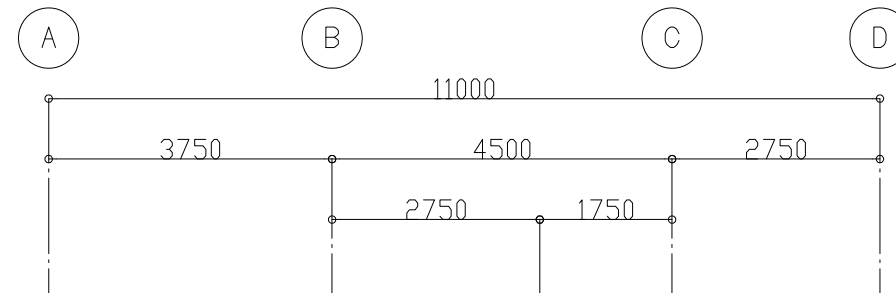
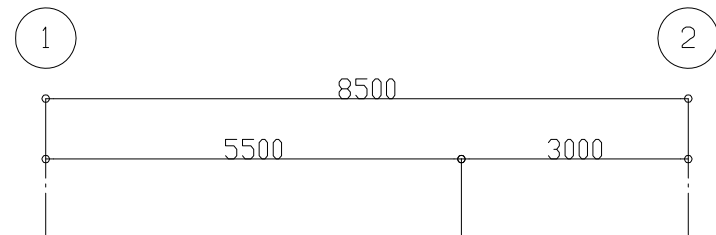
注記

- 太線の部分を本工事とし、細線の部分は既設を再使用する。
- 特記なき配管、配線は下記による。  
 — EM-IE2.0×2 (CP19)  
 — EM-IE2.0×3 (CP19)  
 — 2F2 EM-EEF2.0-2C (CP25)  
 — AE3 EM-AE1.2-3C (CP19)  
 ※点線で示す管路は露出配管を示し、塗装を行う。
- ◆印で示す配線は配管、配線とも新設し、◇印は配線のみ新設する。
- △印で示す照明器具、スピーカーは撤去品を取付るものとし、▲印で示す配線器具は新品を取付る。

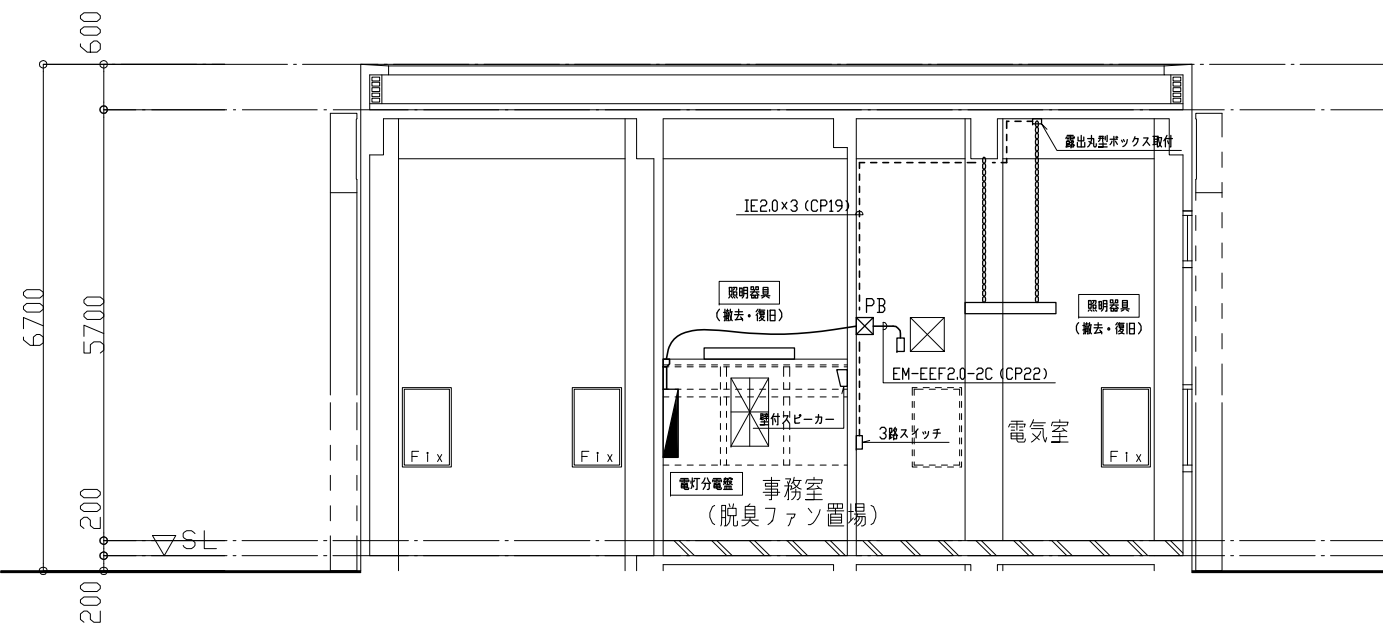
記号	名称	備考
■	電灯分電盤	露出形
□	照明器具	
●	照明器具	電池内蔵形
●3	埋込スイッチ	3W15A×1
⓪	埋込コンセント	2P15A×1
⊗	換気扇	
⊙	壁付スピーカー	3W

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	改修前・改修後 1階平面図		
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種		設計者	
事業主体	四日市市 上下水道局	図番	AE-2

改修後



改修後B-B断面図 S=1/50



改修後C-C断面図 S=1/50

注記

1. 凡例、注記事項は平面図による他下記による。
  - ・撤去材は法に準拠し処分する。
  - ・再使用機器類は清掃や絶縁測定を行い、安全を確認して取付るものとする。

事業名	平成29年度公共下水道事業		
工事名	中央ポンプ場耐震補強工事		
工事場所	四日市市日永東一丁目地内		
名称	改修後 断面図		
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	設計年月日	平成 年 月 日
工種	設計者		
事業主体	四日市市 上下水道局	図書番号	AE-3